

ヨハネの黙示録



聖書フォーラム
BIBLE FORUM

Bible Forum in KOBE

ご利用方法について

格納場所：神戸元町聖書フォーラム

<http://seishoforum.net/>



お願い！



このパワーポイント資料は
Clay クレイ聖書解説コレクション
聖書講解メッセージ・シリーズ「ヨハネの黙示録」
を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子版か紙版テキスト、無料配信動画、メッセージアウトライン
などと合わせて、ご参照・ご活用下さい！

イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

全体構造理解の大前提！

ディスペンセーションリズム

定義「ディスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経綸

(1)聖書を一貫して字義通り(通常、平易)に解釈。

(2)「イスラエル」と「教会」を一貫して区別。

(3)神がユダヤ民族とアブラハム契約を結ばれたこと。
それが永遠の契約であることを認める。

(4)歴史を貫くテーマは「神の栄光」である。

※漸進的啓示の理解も重要！

神の経綸	過去					現在	未来	以前の天と地は過去だった 白い御座の働き 第二の復活と第二の死	黙21:1 ～22:5 新天新地 新しいエルサレム 神の栄光 時間を 超越した 永遠の秩序
	① ～無垢の 時代～	② ～良心の 時代～	③ ～人国による 統治の時代～	④ ～約束の 時代～	⑤ ～律法の 時代～	⑥ ～恵みの 時代～	⑦ ～御国の 時代～		
聖書箇所	創1:28 ～3:8	創3:9 ～8:14	創8:15 ～11:32	創12:1 ～出18:27	出19:1 ～徒1:26	徒2:1 ～黙19:21	黙20:1 ～10		
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア		
1. エデン契約	→【1】エデン契約								
聖書箇所	・創1:26～31・創2:16～17								
2. アダム契約	→アダムの契約【2】								
聖書箇所	・創3:14～19								
3. ノア契約	→ノアの契約【3】								
聖書箇所	・創9:1～17								
4. アブラハム契約	→アブラハムの契約【4】								
聖書箇所	・創12:1～3・創12:7・創13:14～17 ・創15:1～21・創17:1～21・創22:15～18								
5. モーセ契約	→モーセの契約【5】								
聖書箇所	・出19:3～8・広くは出20:1～31:18								
6. 土地の契約	→土地の契約【6:土地】								
聖書箇所	・申29:1～30:1 *特に申29:1に注目								
7. ダビデ契約	→ダビデの契約【7:子孫】								
聖書箇所	・Ⅱサム7:11b～17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b～15(メシア強調)								
8. 新しい契約	→新しい契約【8:祝福】								
聖書箇所	・エ31:31～34								

神のご計画の全貌

神の栄光・被造世界の回復！

Q1) 聖書のはじまりとは？

A1) 創世記1：1

Q2) 聖書の終わりとは？

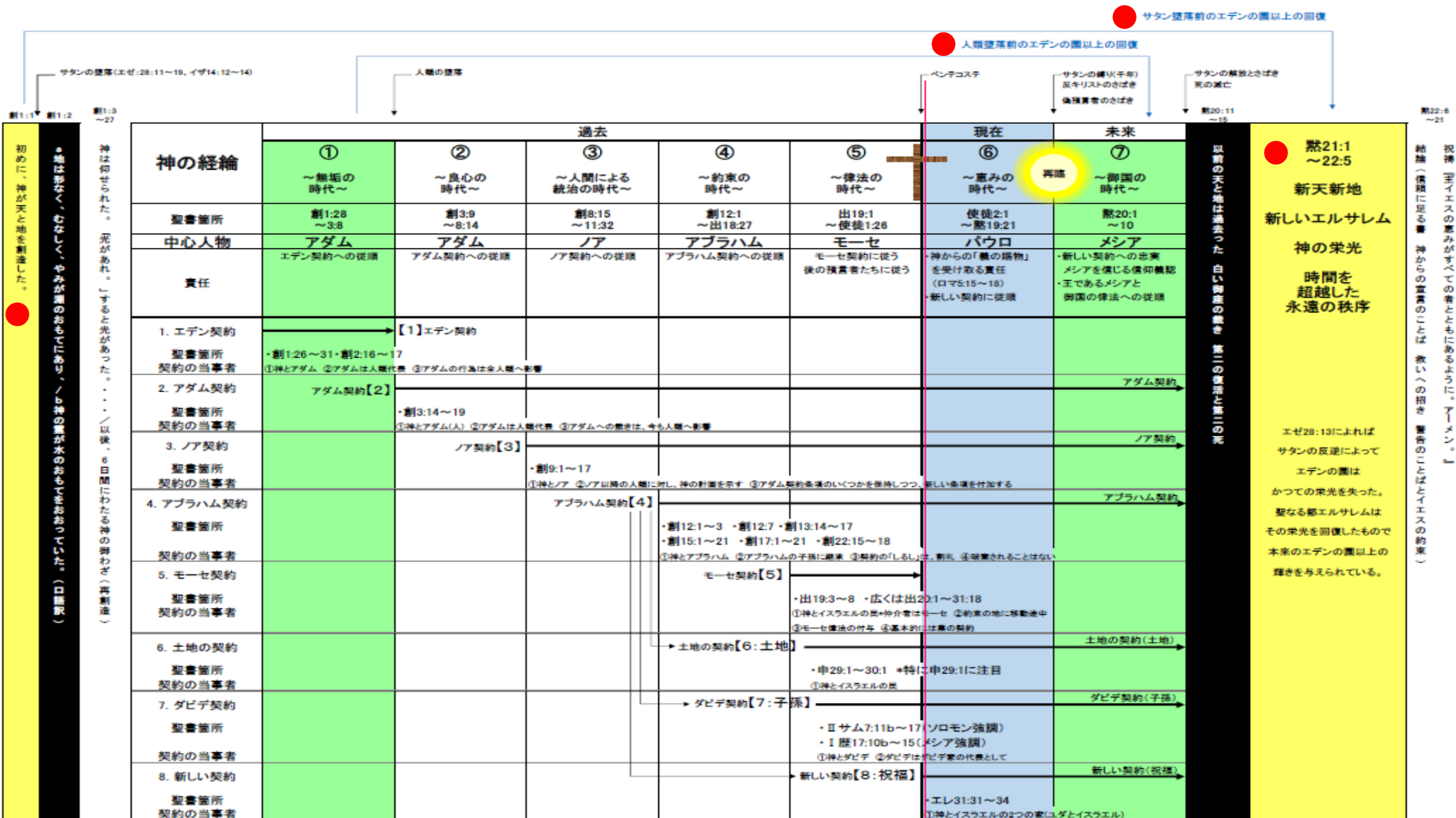
A1) 黙示録21：1～22：5

Q3) 人類墮落前以上の被造世界の回復とは？（第1段階）

A3) 黙示録20：1～10

Q4) サタン墮落前以上の被造世界の回復とは？（第2段階）

A4) 黙示録21：1～22：5



終末論の全貌

ヨハネが見た事

1章

この後に起こる事(4~22章)

20章

携挙

再臨

と

その後に起こる出来事(移行期)

恵みの時代

4~18章

御国の時代

教会時代

メシア的王国

今ある事
2~3章

大患難時代

メシアがダビデの王位に着座

直前期

2000 + ? 年間

7年間

1000年間

? 年

永遠の秩序

律法の時代

神の栄光

19章

21~22章

メシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★
教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

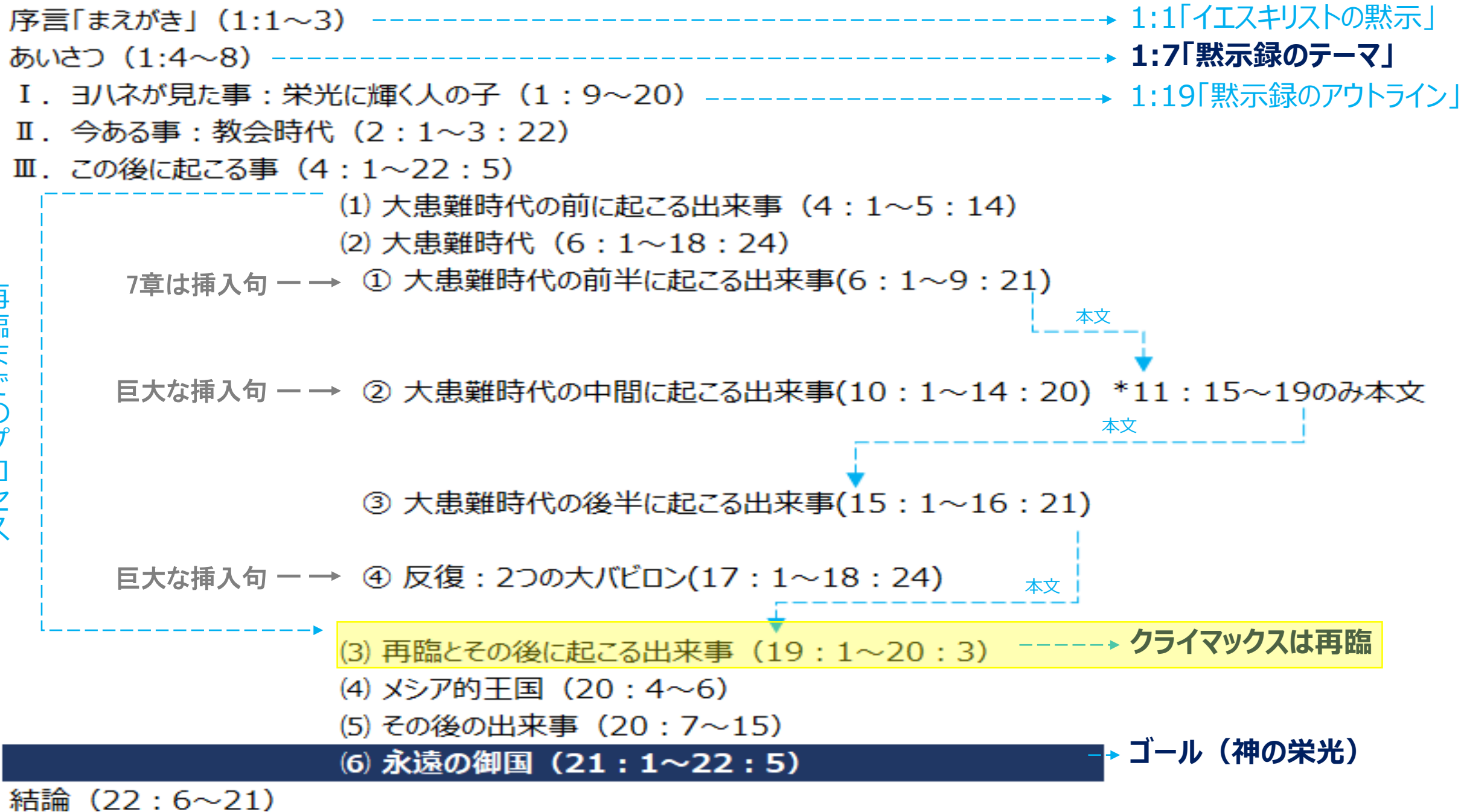
★
ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★
反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

★
第二の復活と
それに続く第二の死

★
あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(1 コリ 15: 26)

目次の全体構造



1章

イントロダクション

ヨハネによる前書き

ヨハネが見た事：栄光の主

< アウトライン >

第1回

- (1) 著者と受取人
- (2) 解釈のための4つのアプローチ
- (3) 黙示録のアウトライン

第2回

- (1) 序言（1～3節）
- (2) あいさつ（4～8節）

第3回

- (1) ラツパの音のような大きな声（9～11節）
- (2) 栄光に輝く人の子（12～16節）
- (3) 幻の解釈（17～20節）

黙示録の要点(1)

3つの重要聖句

1) 1 : 1「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。 」

3) 1 : 19「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 」

黙示録の要点(2)

黙示録のテーマを理解する
主の大いなる再臨の日を待つ

- (1)黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス**（黙1：7）
- (2)再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心**(ゼカリヤ12：10)
- (3)終末論の出来事の流れ
 - ①**携挙**→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心
 - ②**再臨**→千年王国
- (4)大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的
霊的なもの(**再臨の阻止**)
- (5)執筆経緯
「**迫害の中にいる人々**」と「**教会全体**」への励ましと矯正

(6)祝福の約束

「1：3 この予言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを心に留める人々は幸いである。時が近づいているからである。」

「22：7 見よ。わたしはすぐに来る。
この書の預言のことばを堅く守る者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

テーマが再臨であることを理解し

主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

黙示録の要点(3)

再臨の条件は、ユダヤ人の民族的回心
教会としての責務とは

ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

1. 福音を伝える ロマ1：16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。
※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う ロマ15：25～27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62：1～2 ③イザ62：6～7 ④ロマ10：1

2～3章

地上の教会

2～3章

エペソにある教会

スミルナにある教会、ペルガモにある教会

テアテラにある教会、サルデスにある教会

フィラデルフィアにある教会

ラオデキヤにある教会

< アウトライン >

第4回

- (1) 7つの教会の神学的意味
- (2) エペソにある教会（1～7節）

① 宛先

② 賞賛

③ 叱責

④ 奨励

⑤ 約束

教会へ

信者へ

以後の手紙も
同パターン

第5回

- (1) スミルナにある教会 (8～11節)
- (2) ペルガモにある教会 (12～17節)

第6回

- (1) テアテラにある教会 (2 : 18～29)
- (2) サルデスにある教会 (3 : 1～6)

第7回

- (1) フィラデルフィアにある教会 (3 : 7～13)

第8回

- (1) ラオデキヤにある教会 (3 : 7～13)

アジアにある7つの教会



7つの教会への手紙 (ヨハネの黙示録 2：1～3：22)

教会名	内 容	キリスト描写	賞 賛	叱 責	奨 励	約 束
エペソ 意味：好ましい (黙 2：1～7) 使徒時代の教会の型 紀元 30 年～ 100 年頃		・右手に七つの星を持つ方 ・七つの金の燭台の間を歩く方	・行いと労苦と忍耐 ・悪い者たちを追放した ・偽教師たちの教えを拒否した ・ニコライ派の行いを憎んでいる	・初めの愛から離れてしまった	・どこから落ちたかを思い出せ ・悔い改めよ ・初めの行いをせよ	・いのちの木の實を食べる
スミルナ 意味：没薬 (黙 2：8～11) 迫害時代の教会の型 1 世紀～ 4 世紀		・初めてあり、終わりである方 ・死んで、また生きた方	・貧しさや迫害に耐えている		・苦しみを恐れるな ・死に至るまで忠実であれ	・いのちの冠が与えられる ・第二の死によってそこなわれることはない
ペルガモ 意味：結婚した (黙 2：12～17) 国家教会時代の教会の型 4 世紀～ 5 世紀		・鋭い、両刃の剣を持つ方	・キリストの名を堅く保っている ・キリストに対する信仰を捨てなかった	・バラムの教えを奉じている人々がいる ・ニコライ派の教えを奉じている人々がいる	・悔い改めよ	・隠れたマナ（栄光のキリスト）が与えられる ・新しい名が記された白い石が与えられる
テアテラ 意味：継続した犠牲 (黙 2：18～29) 暗黒時代の教会の型 6 世紀～ 15 世紀		・燃える炎のような目を持つ方 ・その足は光り輝くしんちゅうのような方 ・神の子	・行い、愛、信仰、奉仕、忍耐 ・初めの行いにまさる行いをしている	・不品行と偶像礼拝を教える女イゼベルを容認した	・悔い改めよ ・正しい行いと教理を維持せよ	・諸国の民を支配する権威が与えられる ・明けの明星（キリスト）が与えられる
サルデス 意味：逃れる者 (黙 3：1～6) 宗教改革時代の教会の型 16 世紀～ 17 世紀		・神の 7 つの御霊、および 7 つの星を持つ方	・正しい行い ・生きているとの評判がある	・実は死んでいる	・目をさませ ・死にかけているほかの人たちを力づけよ ・聞いたことを思い出し、それを堅く守り、悔い改めよ	・白い衣を着せられる ・父と天使たちの前で、キリストがその名を言い表す
フィラデルフィア 意味：兄弟愛 (黙 3：7～13) 大宣教師時代の教会の型 18 世紀～ 19 世紀		・聖なる方、真実なる方 ・ダビデのかぎを持っている方	・よい行い ・キリストのことばを守り、その名を否まなかった			・試練の時（大患難時代）から守られる ・神の聖所の柱とされ、神の御名、新しいエルサレムの御名、キリストの新しい名が記される
ラオデキア 意味：人々が支配する (黙 3：14～22) 腐敗時代の教会		・アーメンである方 ・忠実で、真実な証人 ・神に造られたものの根源である方		・熱くも冷たくもない ・生ぬるいので口から吐き出す ・みじめで、衰れで、盲目で、裸の者である	・火で精錬された金をキリストから買え ・裸の恥を現さないために着る白い衣を買え ・目に塗る目薬を買え	・勝利を得る者は、キリストと食事をする ・キリストとともに統治する

教会時代

教会の携挙と復活の時期
(第一の復活の二組目)

メノアの復活
(第一の復活の初穂)

大患難

2000 + ? 年

この後起こる事
(4~22章)

主の日

現代

今ある事:教会時代
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦(17章)

1900~現代

1643~1900年

✕7:ラオデキヤ「人々が支配する」「背信の教会」

1517~1643年

◎6:フィラデルフィア「大宣教時代の教会」「兄弟愛」

600~1517年

○5:サルデス「逃れ出る」「宗教改革時代の教会」

313~600年

○4:テアテラ「継続した犠牲」「暗黒時代」

100~313年

○3:ベルガモ「結婚した」「国家教会」

30~100年頃

◎2:スルナ「迫害時代の教会」「没落」

81~96年

○1:エペソ「好ましい」「使徒時代の教会」

I あなたの見た事(1章)

主の日:主の栄光が輝きた特別な日

4～5章

天上の教会

4章

七つの封印を開く前の天の様子

< アウトライン >

第9回

- (1) 招き（1節）
- (2) 天の御座（2～3節）
- (3) 24人の長老たち（4節）
- (4) 七つの御霊（5節）
- (5) 四つの生き物（6～8節）
- (6) 天での礼拝（9～11節）

4章

1. 御座についている方
2. 24人の長老
3. 七つの御霊
4. 四つの生き物



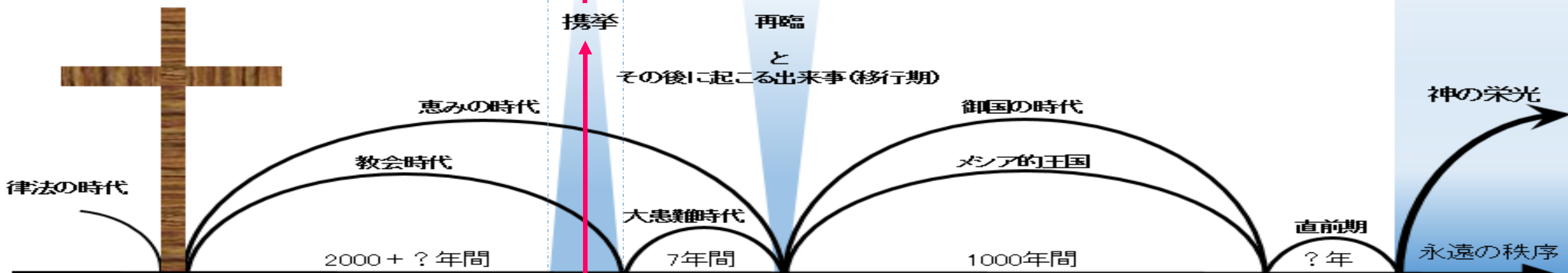
天での礼拝



大患難時代の前に天で起こる出来事（4～5章）

*ヨハネが見た様子、天の視点

地上の視点



今ある事：教会時代（2～3章）

この後に起こる事（4～22章）

5章

巻物と小羊

< アウトライン >

第10回

- (1) 七つの封印で綴じられた巻物 (1節)
- (2) 誰が巻物を開くことができるのか (2～4節)
- (3) ほふられたと見える小羊 (5～7節)
- (4) 小羊の礼拝 (8～11節)

7つの封印で綴じられた巻物

4章

1. 御座についている方
2. 24人の長老
3. 7つの御霊
4. 四つの生き物

5章

5. ほふられたとみえる小羊
ユダ族の獅子・ダビデの根
6. 多くの御使い
7. 被造世界の全無生物・生物

天での礼拝

天のオーケストラ

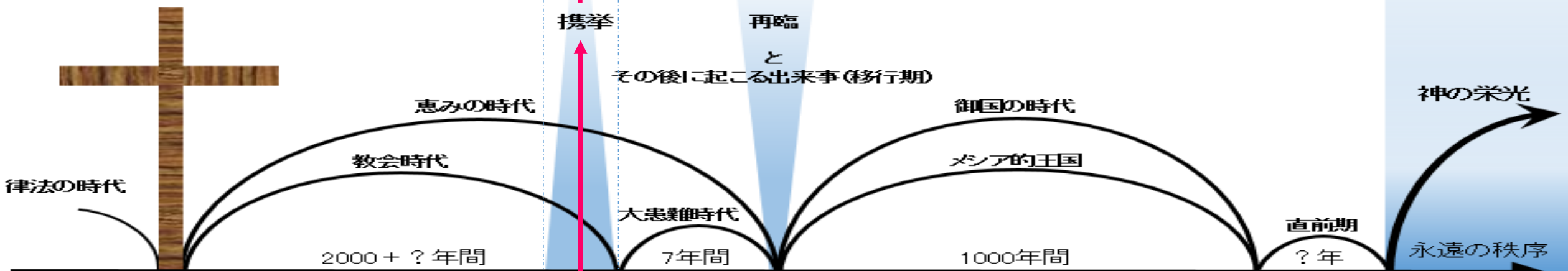
礼拝に参加

礼拝に参加

大患難時代の前に天で起こる出来事（4～5章）

*ヨハネが見た様子、天の視点

地上の視点



今ある事：教会時代（2～3章）

この後に起こる事（4～22章）

6～9章

大患難時代の前半

6章

封印の裁き1～4

封印の裁き5～6

< アウトライン >

第11回

- (1) 第1の封印 (1～2節)
- (2) 第2の封印 (3～4 節)
- (3) 第3 の封印 (5～6節)
- (4) 第4の封印 (7～8節)

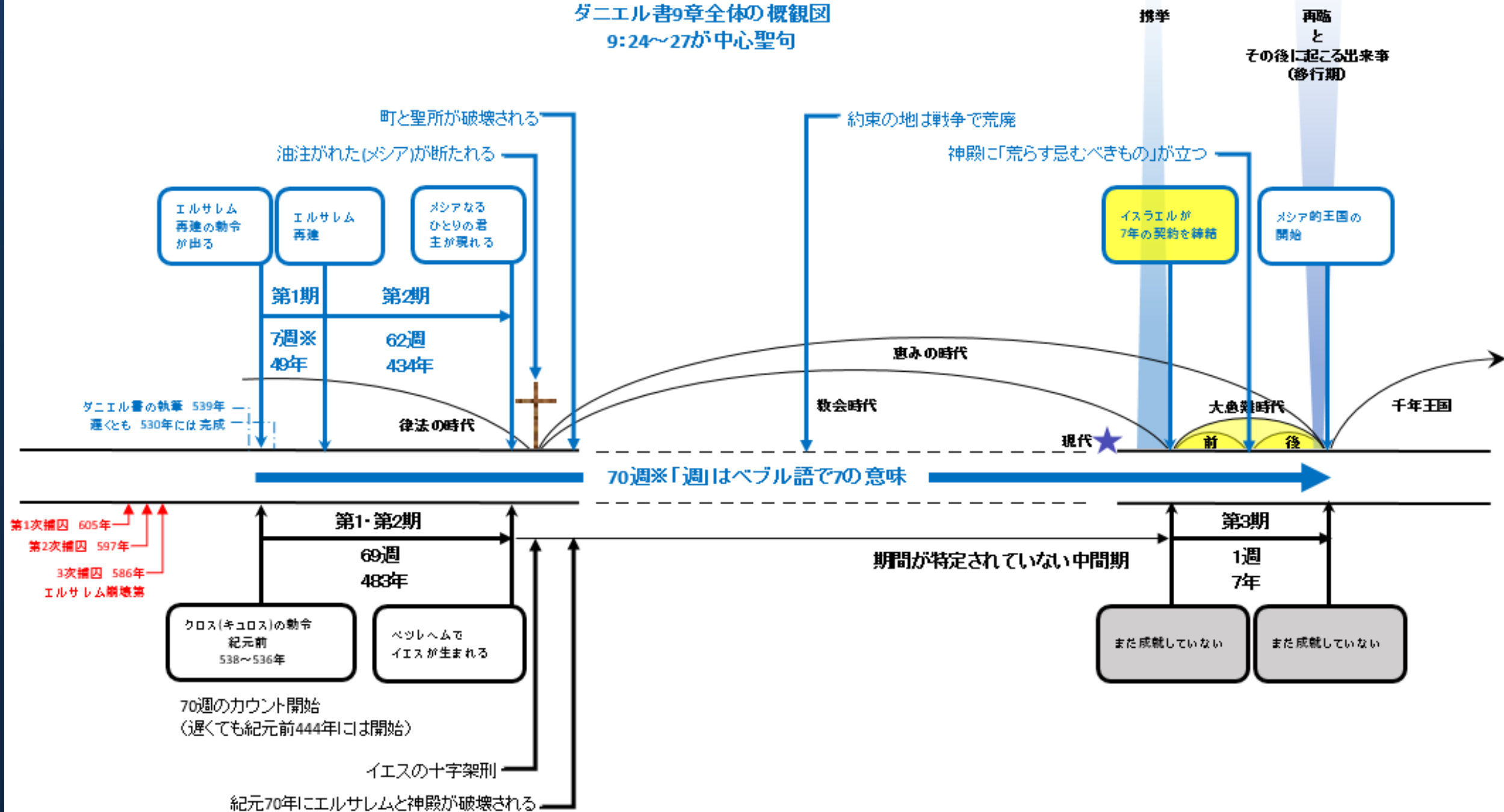
第12回

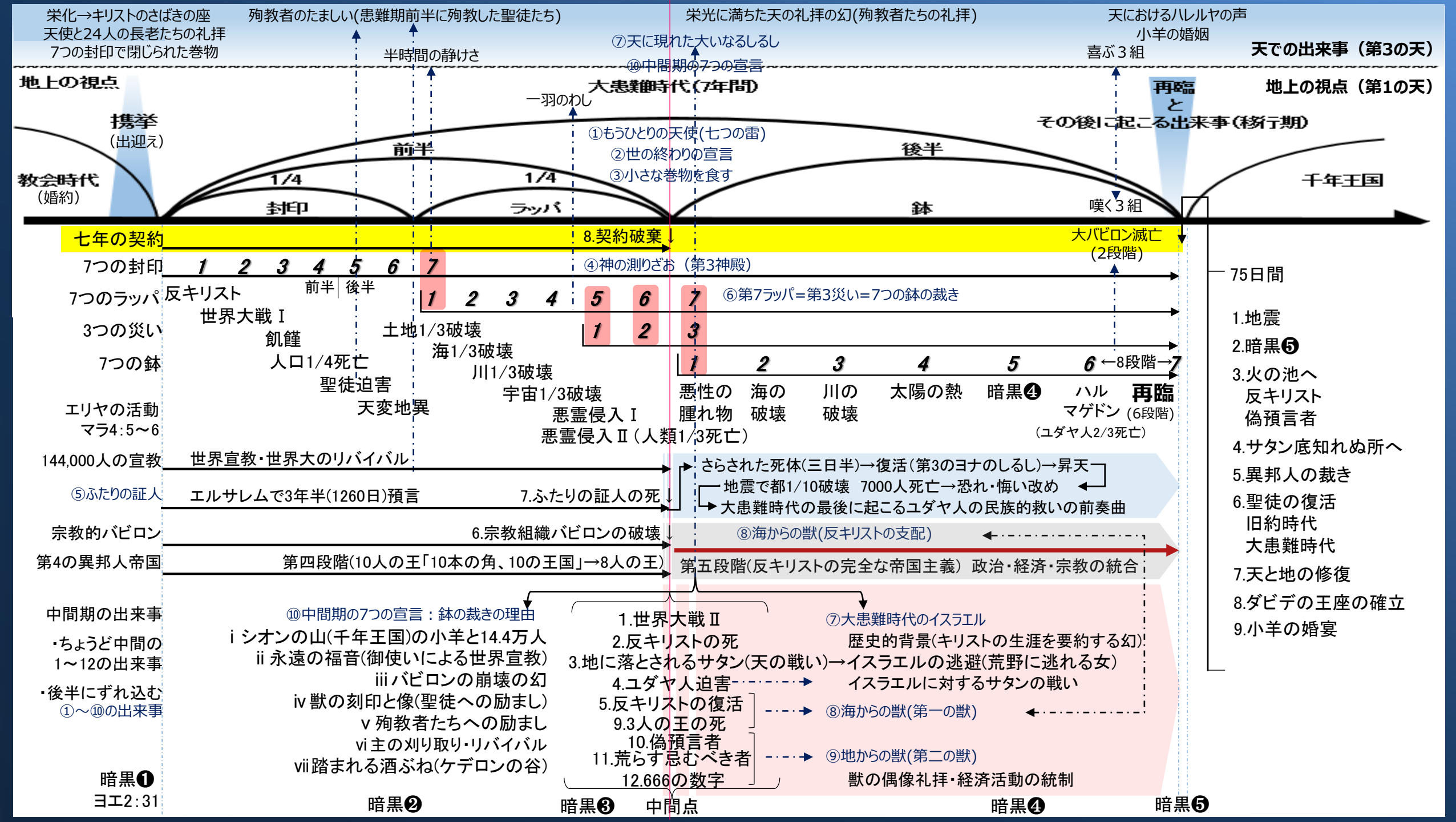
- (5) 第5の封印 (9～11節)
- (6) 第6の封印 (12～17節)

イントロ

ダニエル書9章 70週の預言
大患難時代の3つの目的

ダニエル書9章全体の概観図
9:24~27が中心聖句





大患難時代の3つの目的

①邪悪を一掃

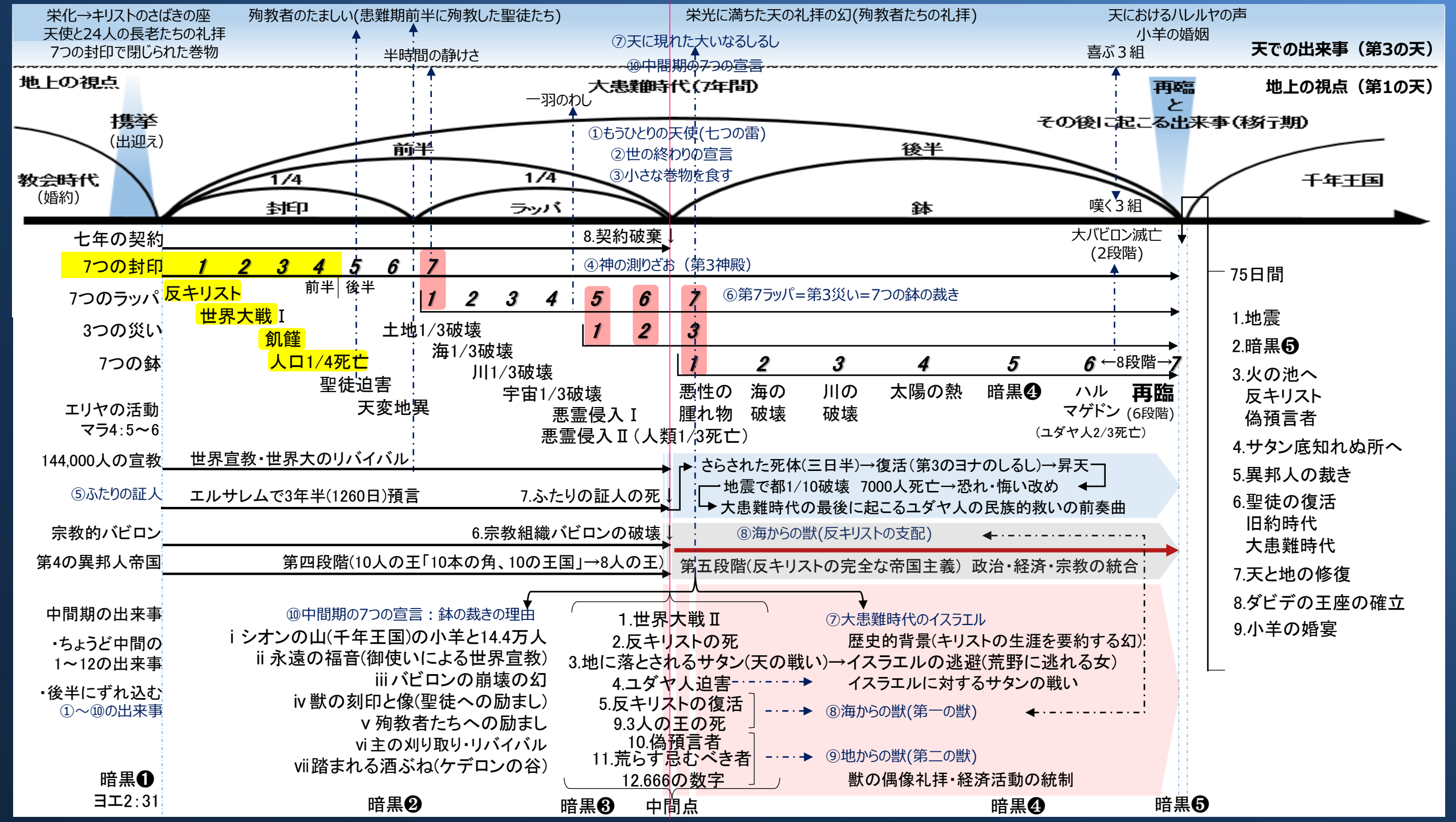
(イザヤ書13：9)

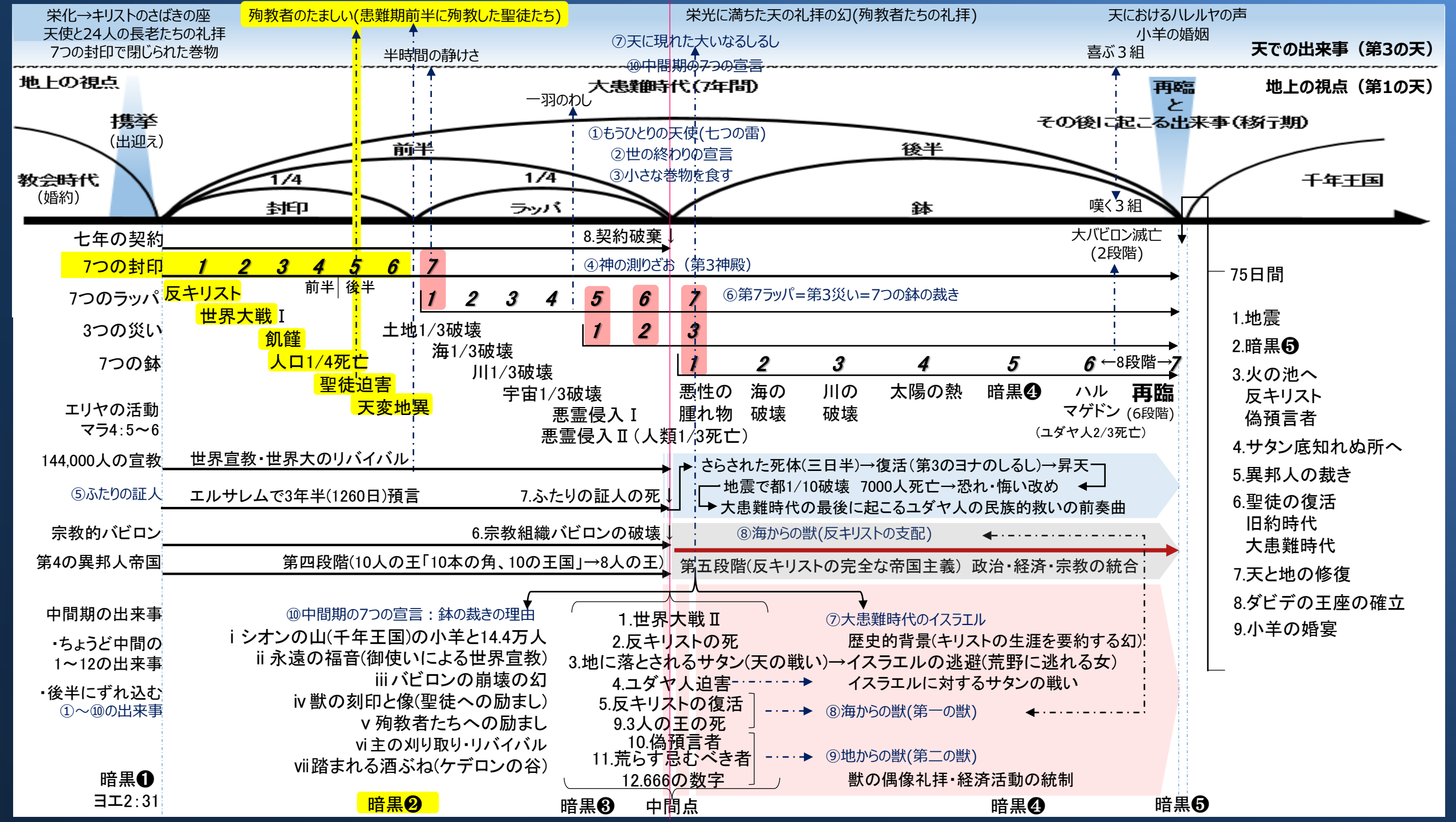
②世界大のリバイバル

(黙示録7章 マタ24：14)

③イスラエルの国家的な新生(再臨の条件)

(ダニエル書12：7)





7章

144,000人のユダヤ人
白い衣を着た大群衆

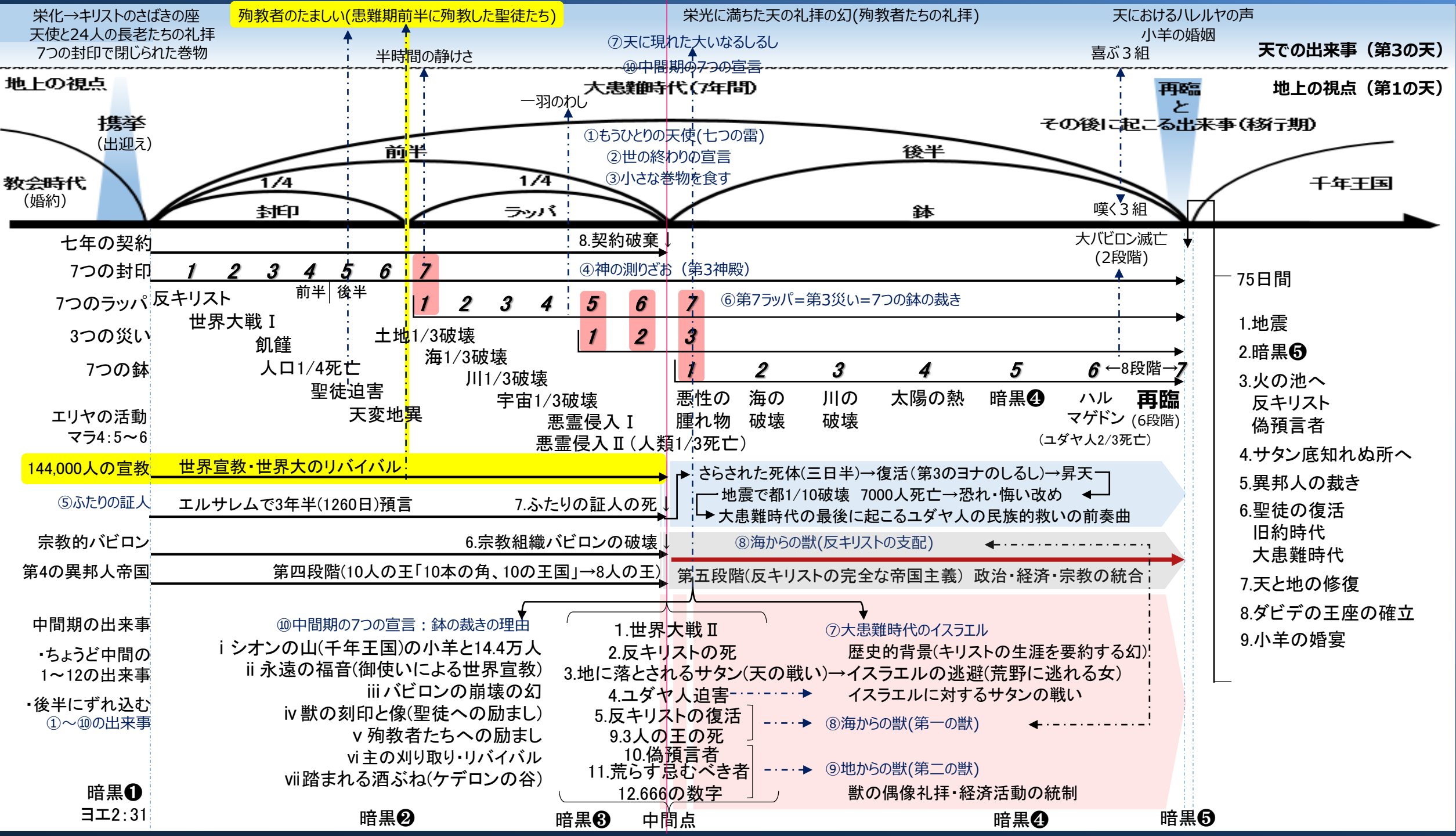
< アウトライン >

第13回

- (1) 4人の御使いの幻（1～3節）
- (2) 144,000人のユダヤ人（4節）
- (3) 12部族（5～8節）

第14回

- (1) 諸国からの大群衆（9～10節）
- (2) 天使たちの礼拝（11～12節）
- (3) 大患難時代の殉教者（13～14節）
- (4) 殉教者が受ける祝福（15～17節）



8～9章 ラッパの裁き

8章

ラツパの裁き1～4

< アウトライン >

第15回

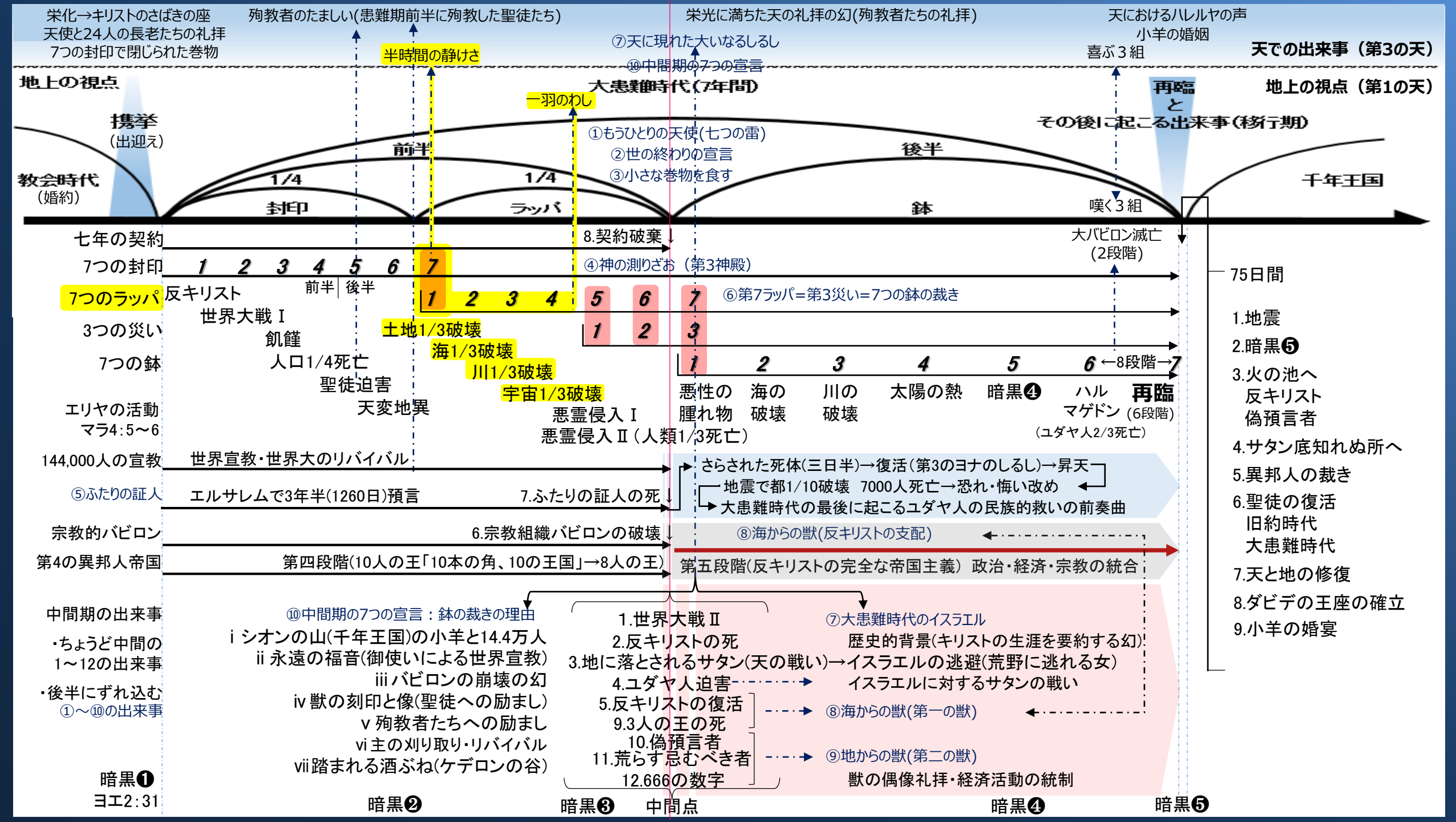
イントロダクション：7人の天使たち（1～6節）

(1) 第1のラッパ（7節）

(2) 第2のラッパ（8～9節）

(3) 第3のラッパ（10～11節）

(4) 第4のラッパ（12～13節）



9章

ラツパの裁き5

ラツパの裁き6

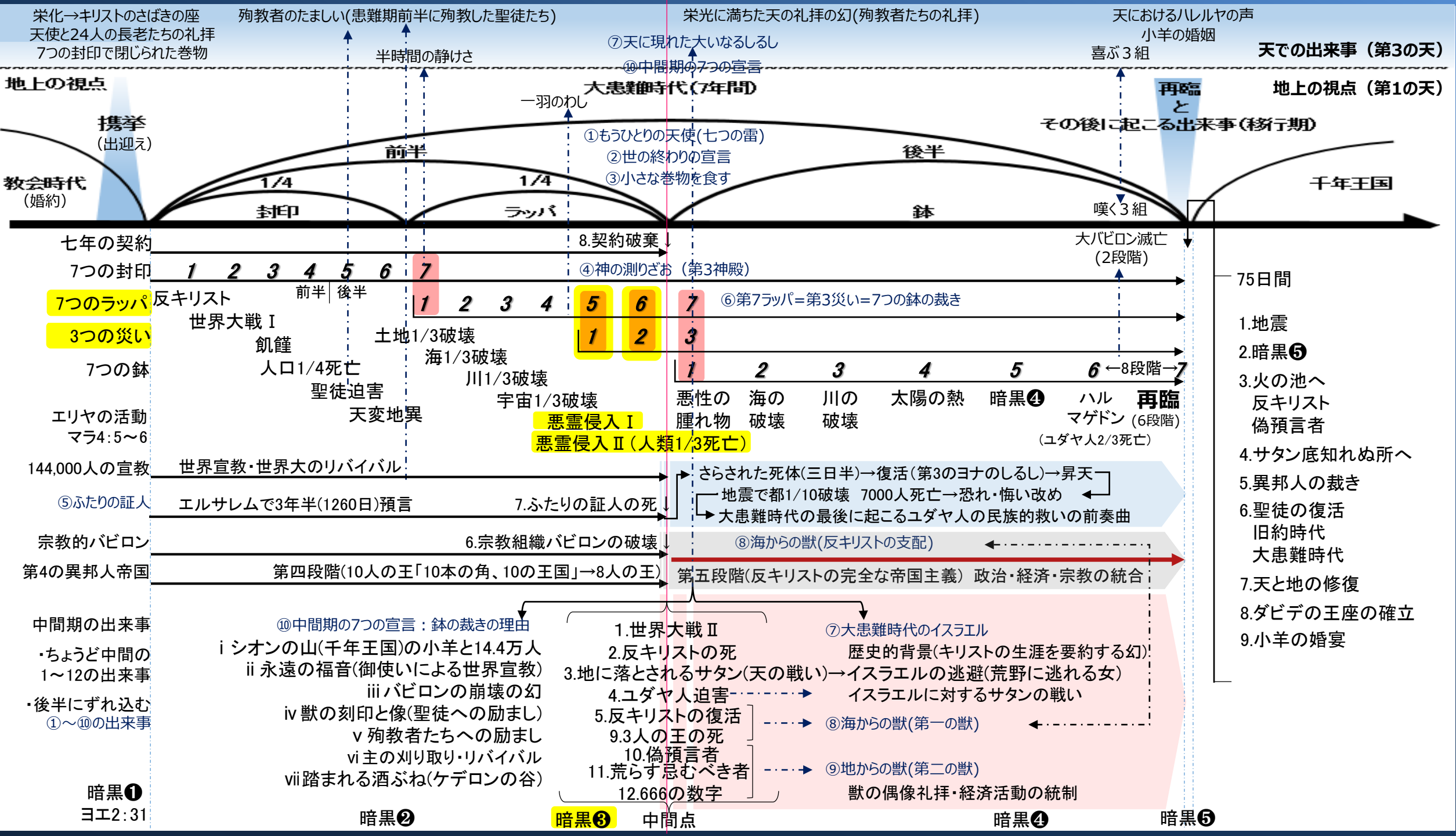
< アウトライン >

第16回

- (1) 天から落ちた一つの星（1～2節）
- (2) 穴から出てきた悪霊ども（3～6節）
- (3) 悪霊どもの描写（7～8節）

第17回

- (1) これから来る二つのわざわいの裁き（12節）
- (2) 4人の天使の解放（13～15節）
- (3) 2億の軍勢（16～19節）
- (4) 悔い改めない人々（20～21節）



死者の場所（13の用語）

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

⑫天（第三の天）

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

（第二の天）

（第一の天）

キリストの昇天

（地球）

①シオール（死者が行く場所）＝②ハデス（広義）

②ハデス（狭義）

③アバドン（固有名詞）

④よみの穴（描写的言葉）

⑦地獄（ヘブル語、ギリシア語にない）

⑤アビス
（墮天使を一時的に閉じ込める場所）

④タータラス
（創6章の墮天使）

⑩アブラハムのふところ
（比喩的言葉）

⑪パラダイス

- ①シオール よみ（改）、陰府（共）、陰府（口）
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓（ヨブ 33：18）
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、樂園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム（ガラ 4：26）

⑧ゲヘナ（Gei Hinnom が語源）

⑨火の池

（すべての失われた者の永遠の住み家）

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって縛られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊					
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

10～14章

大患難時代の間

10～11章

ちょうど中間の出来事

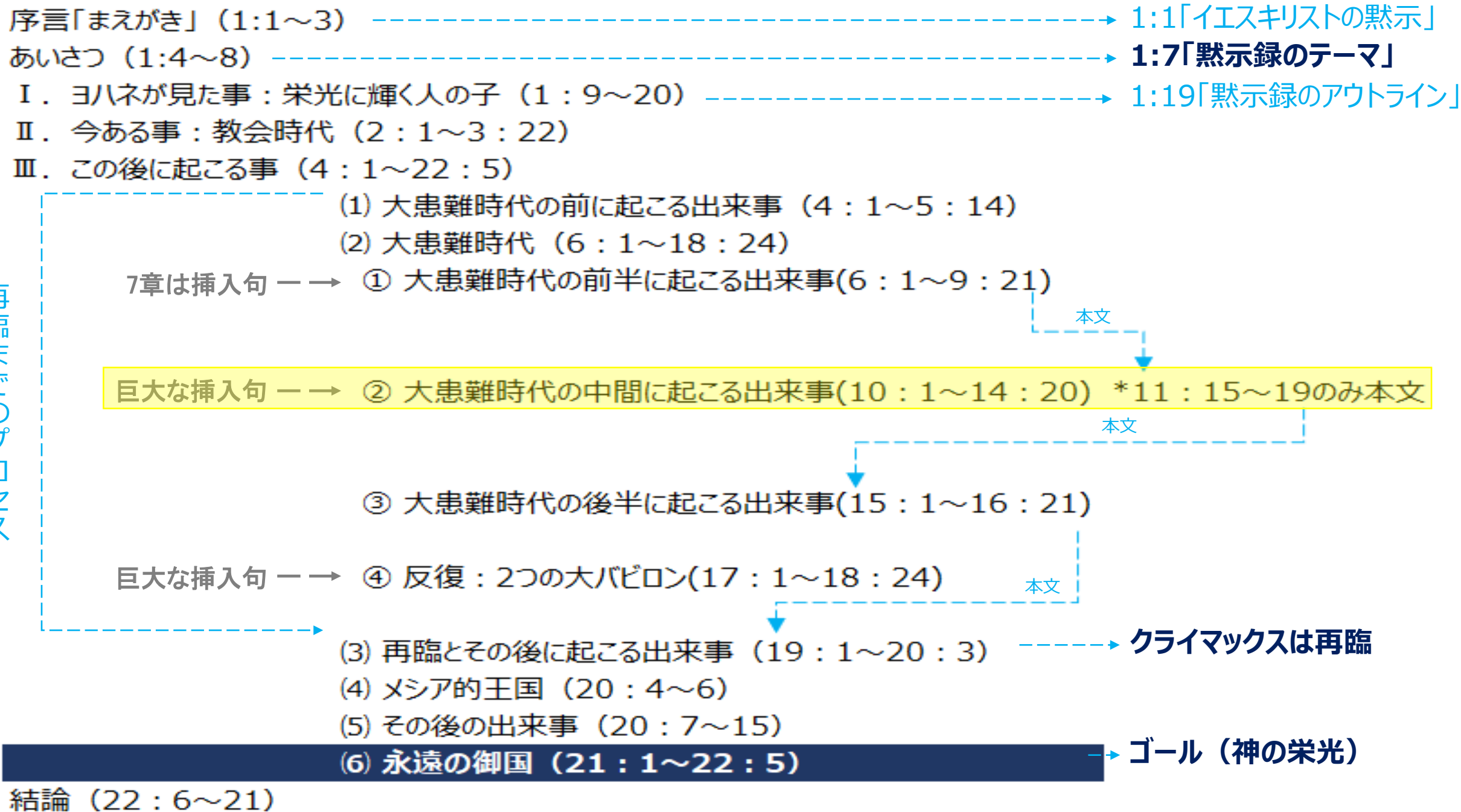
10章

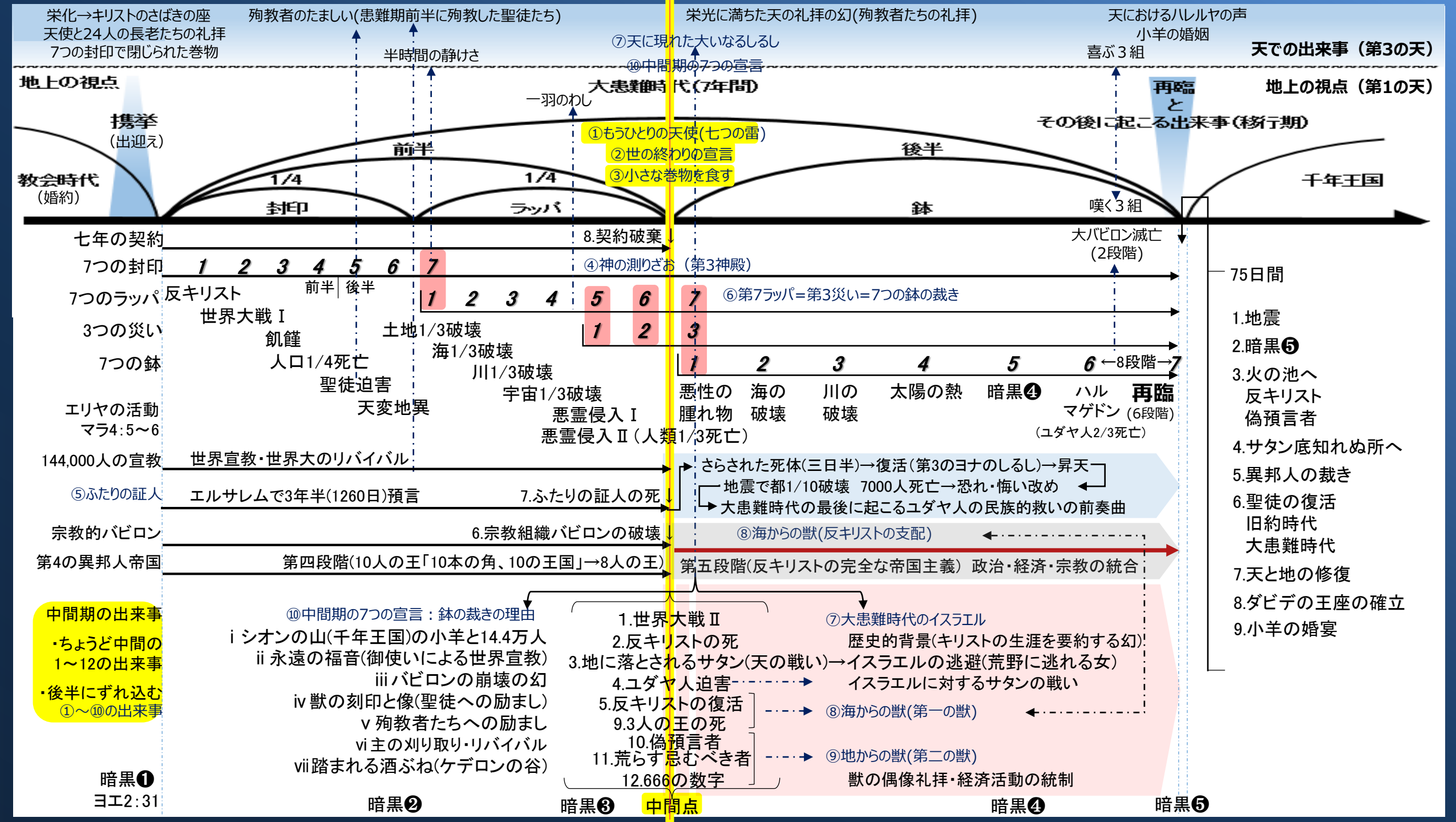
小さな巻物

< アウトライン >

第18回

- (1) もうひとりの天使 (1～4節)
- (2) 世の終わりの宣言 (5～7節)
- (3) 小さな巻物を食す (8～11節)





11章

ふたりの証人の復活

ラッパの裁き

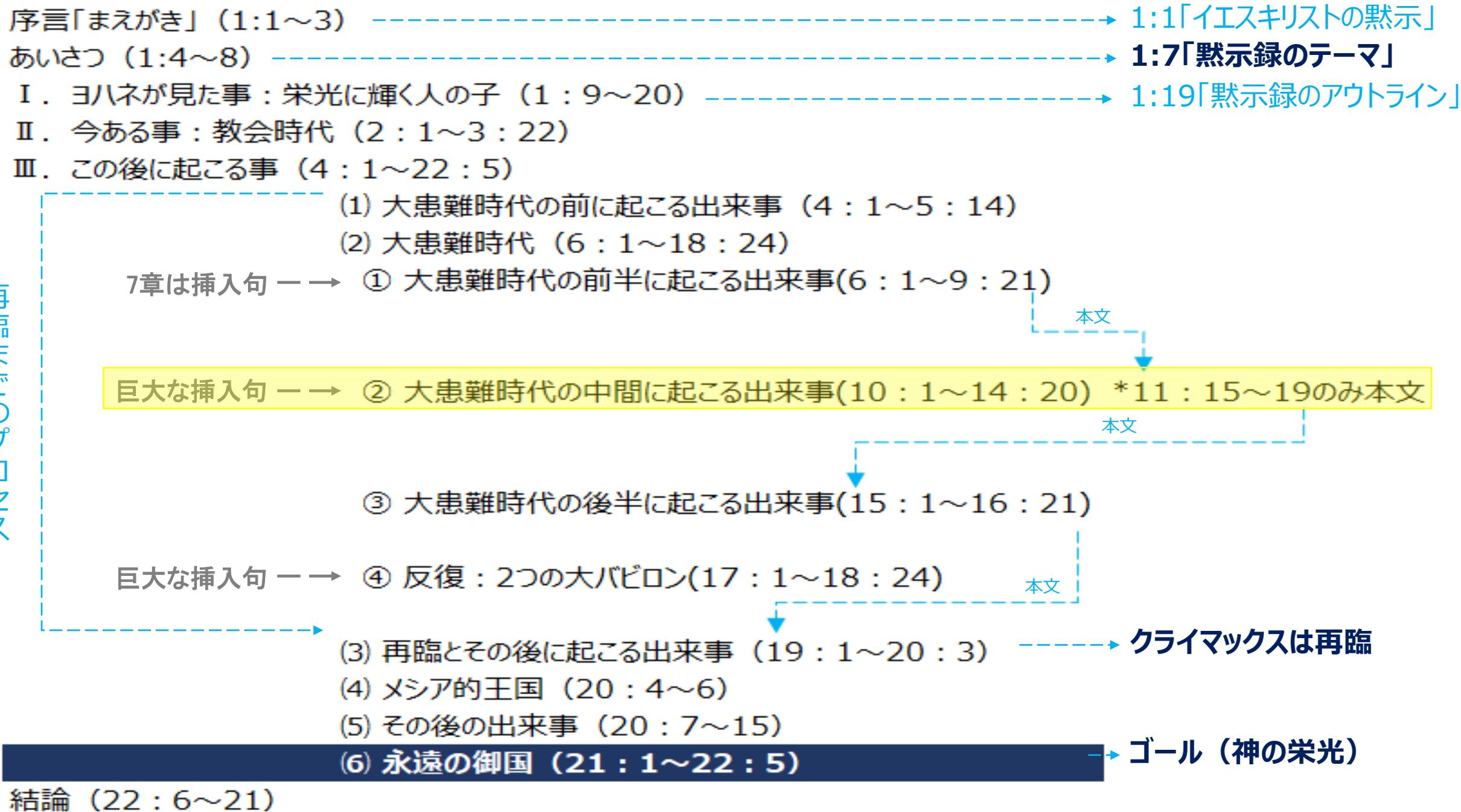
< アウトライン >

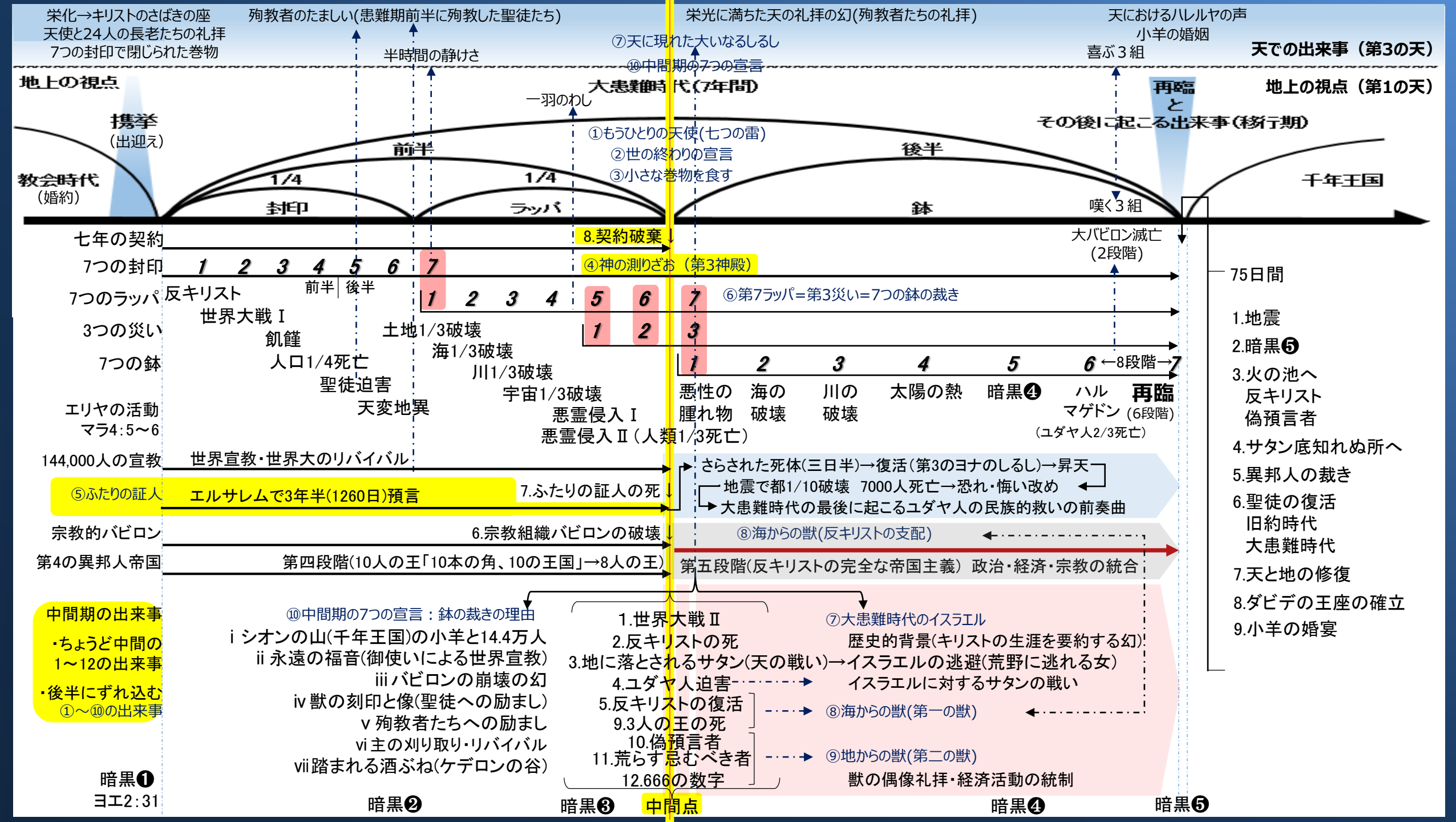
第19回

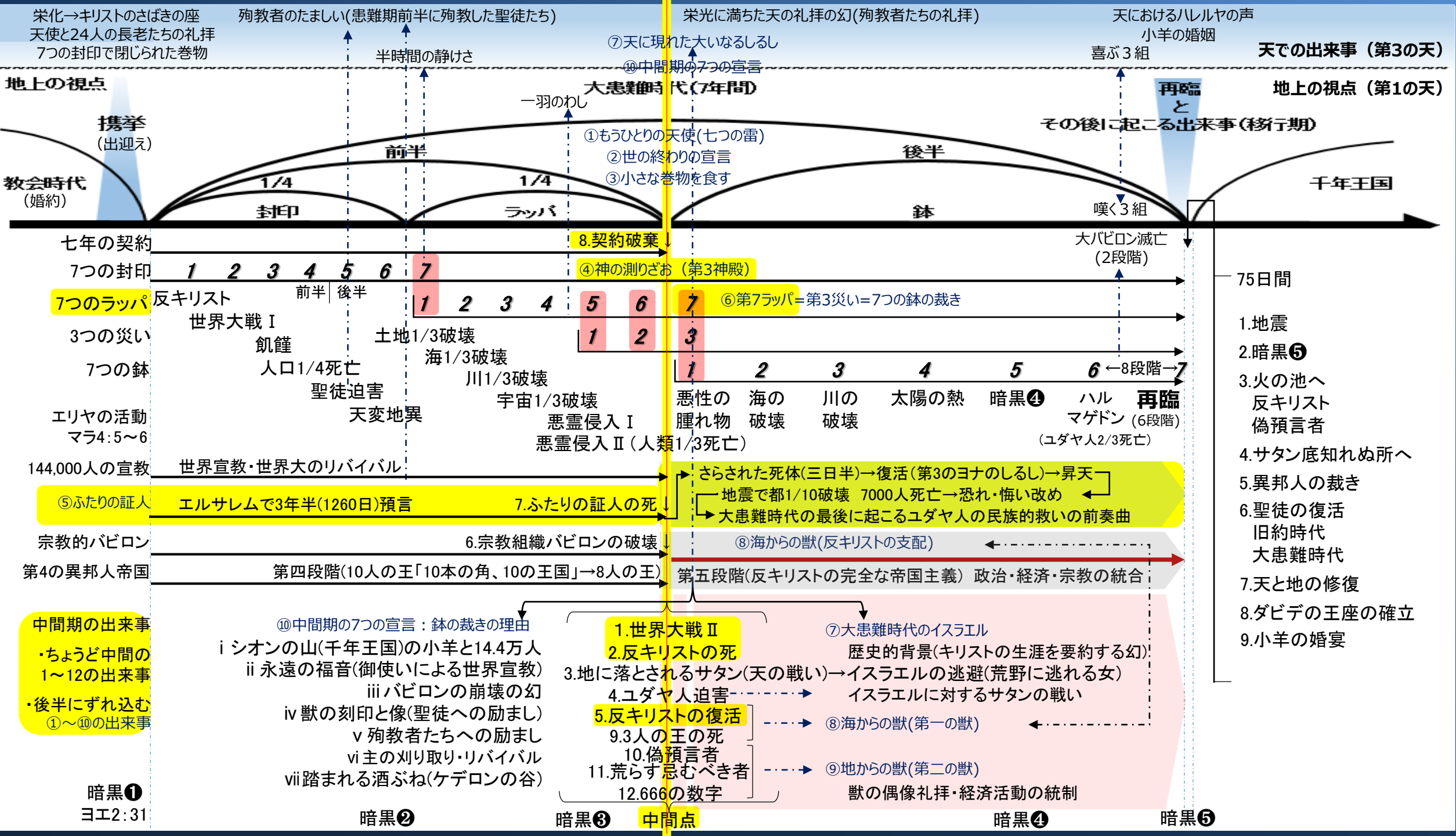
- (1) 神の測りざお（1～2節）
- (2) ふたりの証人の活動（3～6節）

第20回

- (1) ふたりの証人の死（7～10節）
- (2) ふたりの証人の復活（11～13節）
- (3) 第7のラッパ（14～19節）







死者の場所（13の用語）

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

⑫天（第三の天）

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

（第二の天）

（第一の天）

キリストの昇天

（地球）

①シオール（死者が行く場所）＝②ハデス（広義）

②ハデス（狭義）

③アバドン（固有名詞）

④よみの穴（描写的言葉）

⑦地獄（ヘブル語、ギリシア語にない）

⑤アビス
（墮天使を一時的に閉じ込める場所）

④タータラス
（創6章の墮天使）

⑩アブラハムのふところ
（比喩的言葉）

⑪パラダイス

- ①シオール よみ（改）、陰府（共）、陰府（口）
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓（ヨブ 33：18）
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、樂園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム（ガラ 4：26）

⑧ゲヘナ（Gei Hinnom が語源）

⑨火の池

（すべての失われた者の永遠の住み家）

12～14章

後半にずれ込む中間

12章

イスラエルに対する戦い

< アウトライン >

第21回

- (1) ひとりの女 (1～2節)
- (2) 赤い竜 (3～4 節)
- (3) 男の子 (5～6節)

第22回

- (1) 天での戦い (7～9 節)
- (2) 天に起こる声 (10～12節)
- (3) イスラエルを迫害する竜 (13～16節)

7人の主役たち

～12-13章が最も多く象徴(シンボル)が登場する～

12章：前半

①ひとりの女：イスラエルの象徴

②赤い竜：サタンの象徴

③男の子：キリストの象徴

12章：後半

④ミカエル：天使長

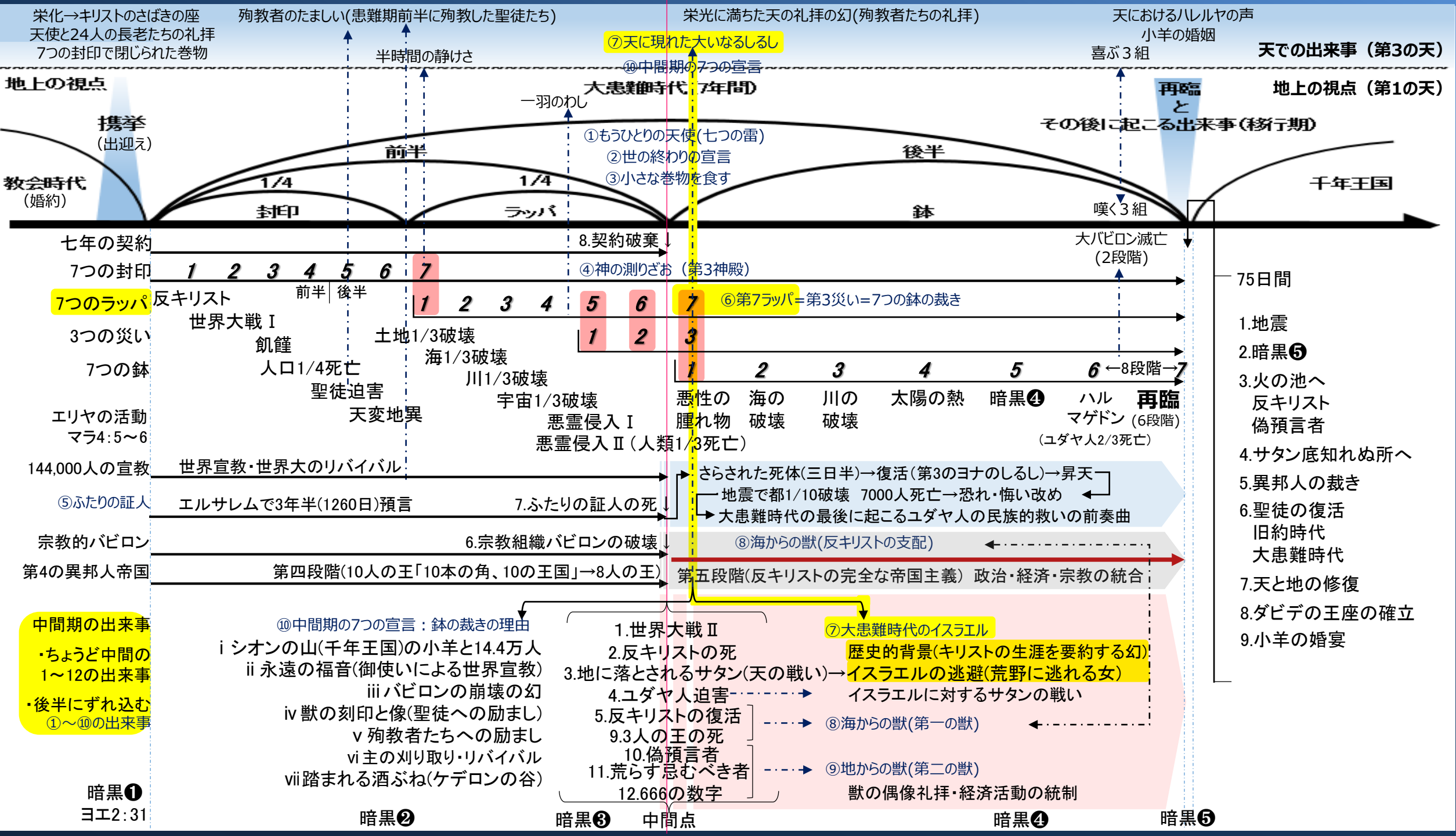
⑤女の子孫の残りの者：レムナント、真の信仰者たち

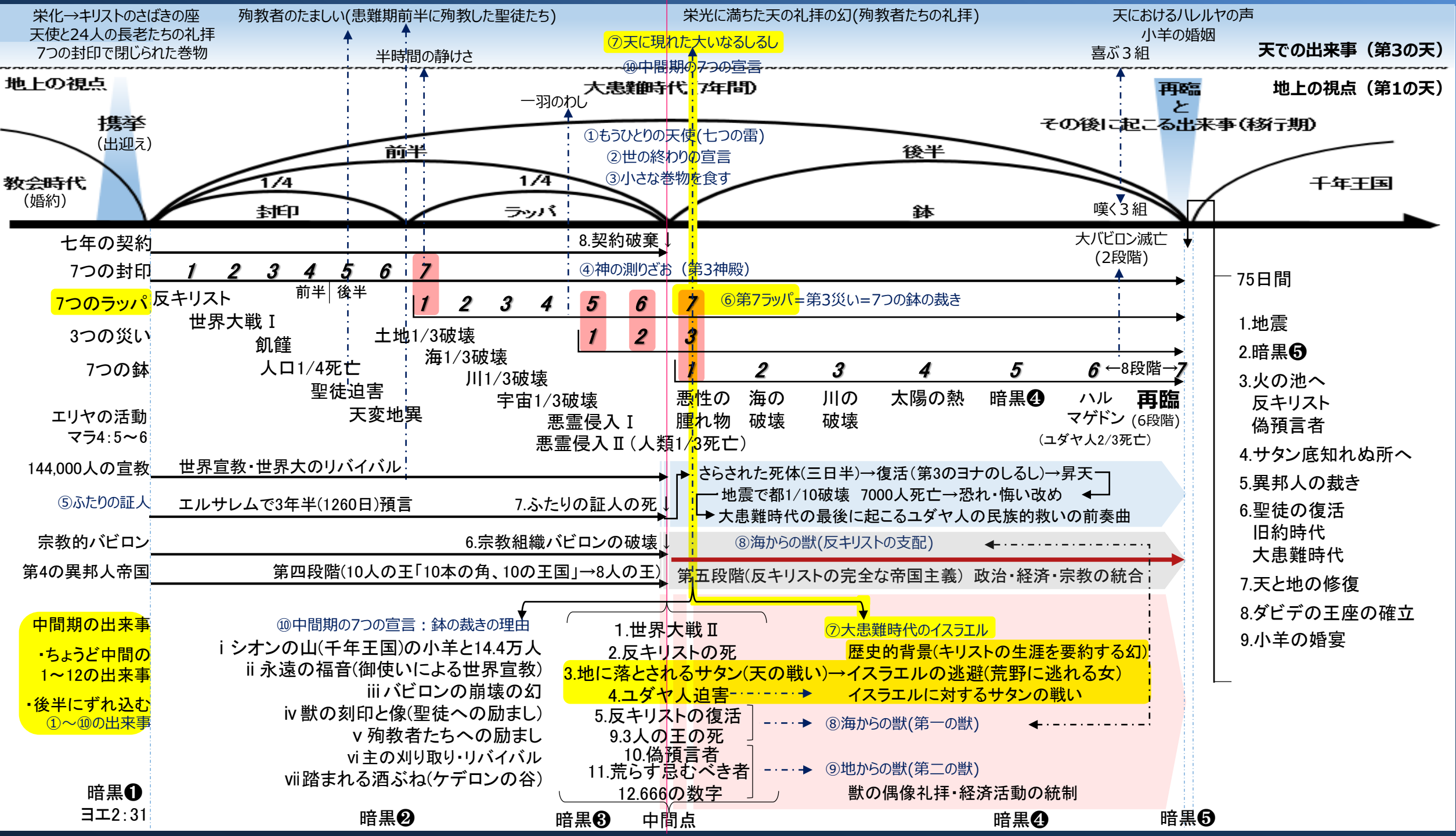
13章：前半

⑥海から上って来た獣：反キリスト

13章：後半

⑦地から上って来た獣：偽預言者





	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天 第2、第3の天や 地上に移動可能	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって縛られ幽閉	
悪霊					
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が聞く)		エドム or バビロン	ゲヘナ (火の池)
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

13章

海からの獣

地からの獣

< アウトライン >

第23回

- (1) 獣の形状 (1～2節)
- (2) 獣の復活 (3～4 節)
- (3) 獣の支配 (5～8節)
- (4) 励ましのことば (9～10節)

第24回

- (1) 獣の形状 (11～12節)
- (2) 獣が行う奇跡 (13～15節)
- (3) 獣の刻印 (16～18節)

7人の主役たち

12-13章が最も多く象徴(シンボル)が登場する

12章：前半

①ひとりの女：イスラエルの象徴

②赤い竜：サタンの象徴

③男の子：キリストの象徴

12章：後半

④ミカエル：天使長

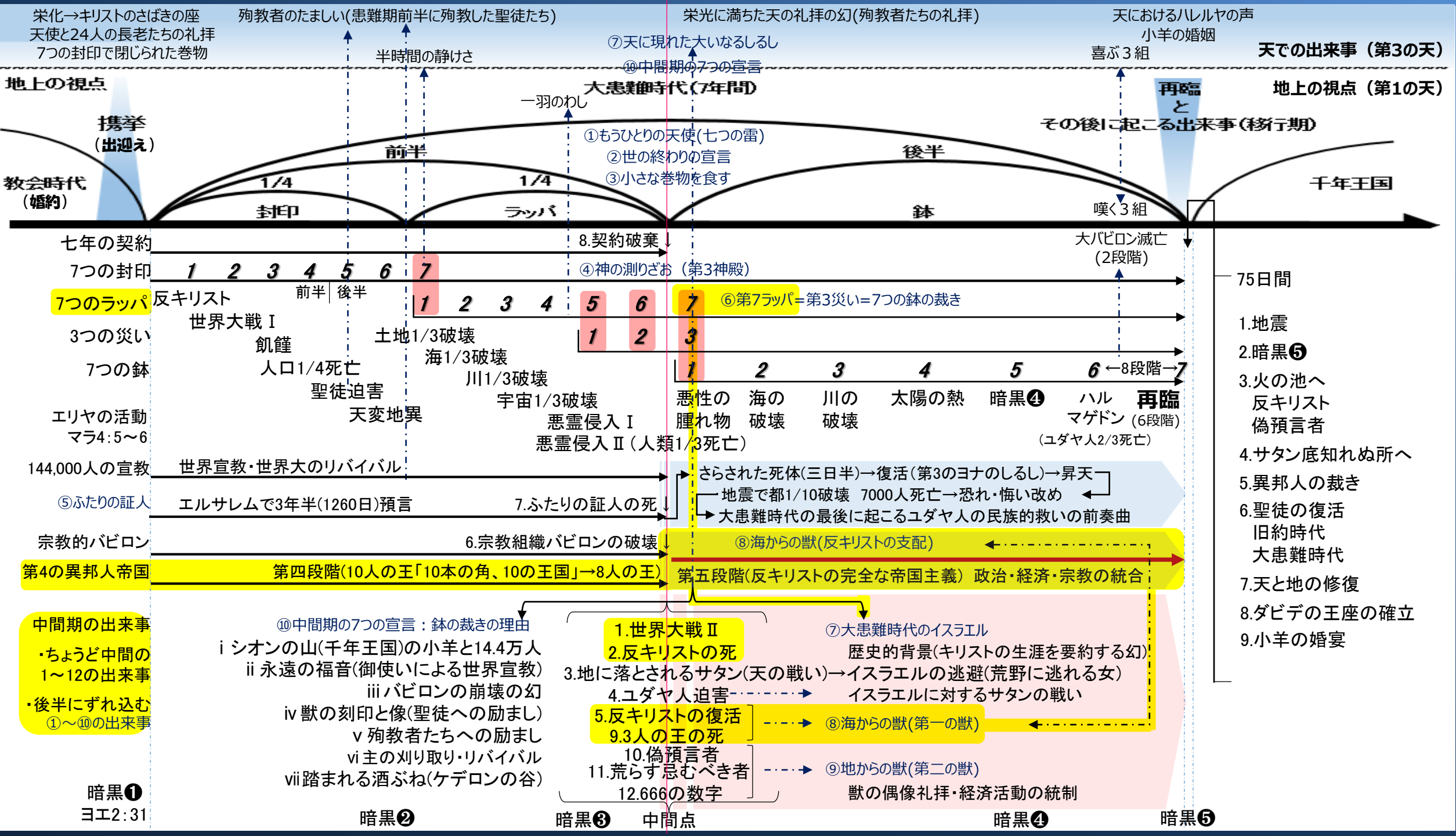
⑤女の子孫の残りの者：レムナント、真の信仰者たち

13章：前半

⑥海から上って来た獣：反キリスト

13章：後半

⑦地から上って来た獣：偽預言者



聖句箇所	過 去					現在	将来	大 患 難 時 代							
								前半	中間	後半					
	異 邦 人 帝 国 （ 異 邦 人 の 時 ）														
黙13：1～10 黙17：9～12	第一の 異邦人 帝国	第二の 異邦人 帝国	第三の 異邦人 帝国	10本の角					第 四 の 異 邦 人 帝 国 （ 獣 ） 帝 国 主 義 の 5 つ の 段 階						
ダニ7：7～12	獅子の ように 鷲の翼	熊	ひょうのよう で 4つの翼	大きな鉄のきばと10本の角											
ダニ2：40～43	頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	すねは鉄、足は鉄と粘土											
黙12：1～5 黙13：1～10 黙17：9～12 ダニ7：7～12 ダニ7：19～27 ダニ9：27 ダニ11：36～45	バビロン	メド・ ペルシャ	ギリシア	古代ローマ共和国の統治形態					第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階		
				プトレ マイオス	タルキソン王 の時代 (7人の王)	執政官 の時代	平民・ 独裁官 の時代	十人 委員 の時代	三頭 政治 の時代	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの 時代	東西分裂 (364年 ～現在) ★ 現在	世界統一 政府 ★ 将来	帝国主義第4段階の 10本の角とは10人の王のこと。 反キリストが11番目として台頭。 3本(人)を倒し8番目の角として 他7本(人)を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上ってきます」 これは反キリストの 復活を意味し、 復活した反キリストは、 二人の証人を殺す (黙11:7)		彼 (反キリスト) が来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する (獣の国)
				セレウコス											
				カッサン ドロス											
				リュシ マコス	第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	第6の頭(山・王) (統治形態=帝国主義)		第7の頭 (反キリスト) 完全な統治形態			
				7つの頭										7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(古代ローマ共和国の5つの統治形態)、現在(ローマ帝国=帝国主義)、将来(反キリストによる独裁)	
神の国 メシア的王国 / 千年王国															

神の国
メシア的王国
/
千年王国

説B

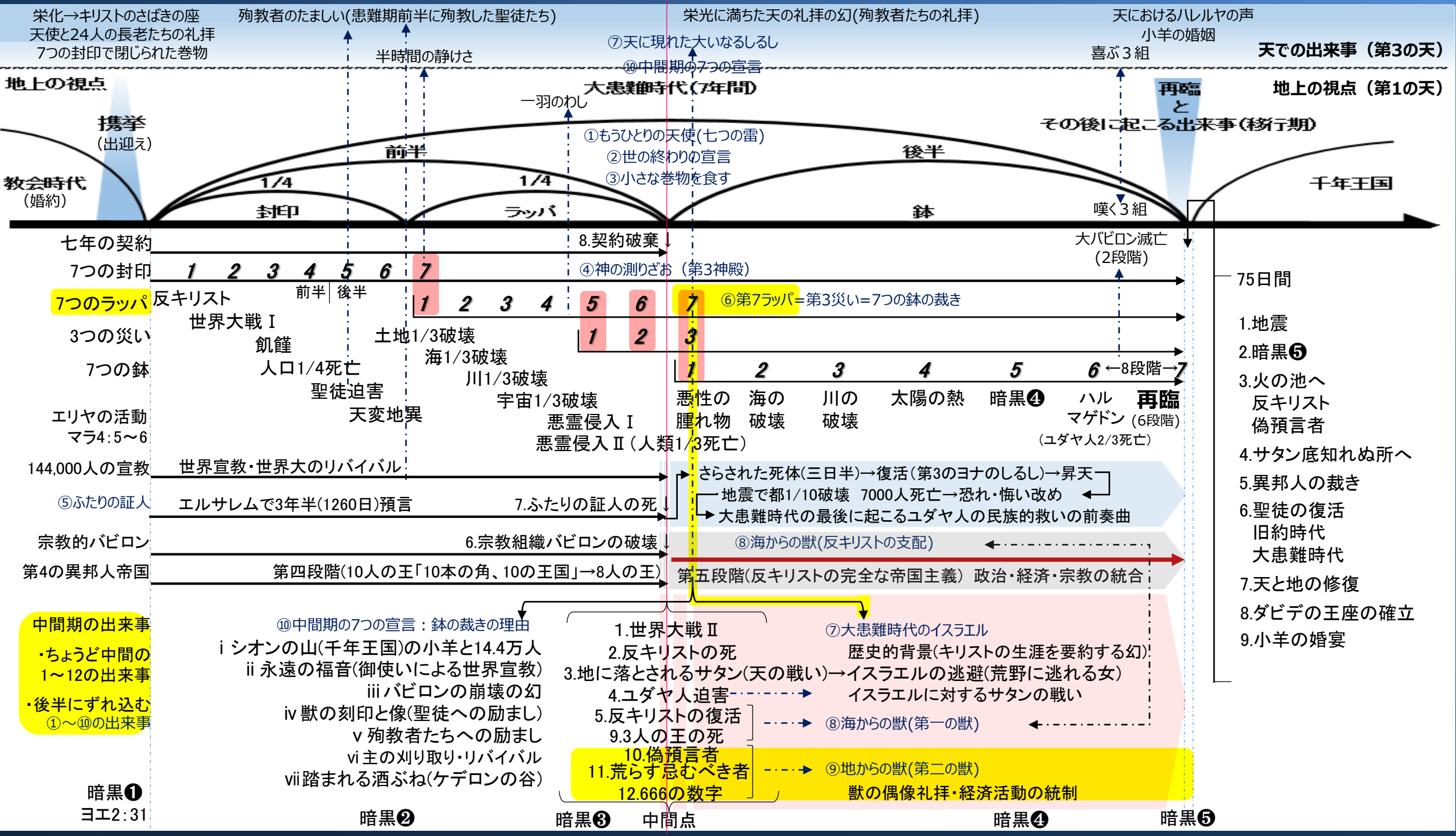
聖句箇所	過去					現在	将来	大 患 難		時 代
								前 半	中間	後 半
黙13：1～10 黙17：9～12	エジプト ？	アッシリア ？	異 邦 人 帝 国 （ 異 邦 人 の 時 ）							
ダニ7：7～12			第一の 異邦人帝国	第二の 異邦人帝国	第三の 異邦人帝国	第 四 の 異 邦 人 帝 国 （ 獣 ） 帝 国 主 義 の 5 つ の 段 階				
ダニ2：40～43			獅子のよう で鷲の翼	熊	ひょうのよう で4つの翼	大 き な 鉄 の き ば と 1 0 本 の 角				
			頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	す ね は 鉄 、 足 は 鉄 と 粘 土				
黙12：1～5 黙13：1～10 黙17：9～12 ダニ7：7～12 ダニ7：19～27 ダニ9：27 ダニ11：36～45			バビロン	メド・ ペルシャ	ギリシア	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階
				統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年～現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	10本の角は、帝国主義の 第4段階の10人の王。 反キリストが11番目として台頭。 3本(人)を倒し8番目の角として 他7本(人)を支配する。 「昔いたが、今はいません。しかし、 やがて底知れぬ所から上ってきます」 これは反キリストの復活を意味し、 復活した反キリストは、 二人の証人を殺す(黙11:7)	彼 (反キリスト) が来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する (獣の国)		
							10の王国 10本の角 (10人の王)	8人の王 ひととき (黙17:12)	反キリスト(獣) による支配 (完全な帝国主義)	
7つの頭										
7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト？、アッシリア？、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシア)、現在(ローマ帝国=帝国主義)、将来(反キリストによる独裁)										

神の国

メシア的王国
/
千年王国

10本の角

神の国
メシア的王国
/
千年王国



14章

天からの7つの宣言

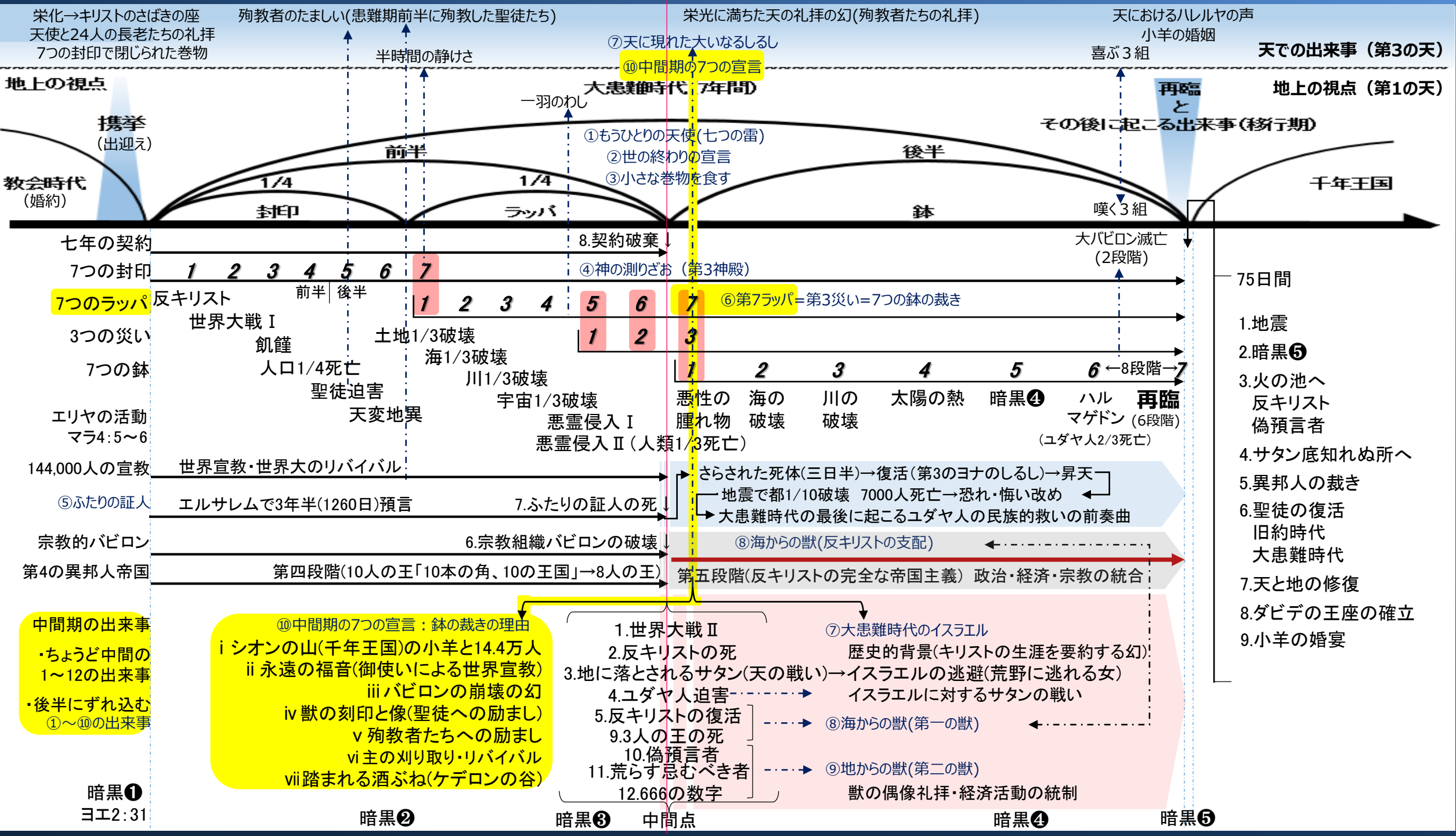
< アウトライン >

第25回

- (1) 第一の宣言：シオンの山の144,000人（1～5節）
- (2) 第二の宣言：永遠の福音（6～7節）
- (3) 第三の宣言：バビロンの崩壊（8節）

第26回

- (1) 第四の宣言：獣を拝む者たち（9～11節）
- (2) 第五の宣言：聖徒たち（12～13節）
- (3) 第六の宣言：刈り取り（14～16節）
- (4) 第七の宣言：神の激しい怒り（17～20節）



15～18章

大患難時代の後半

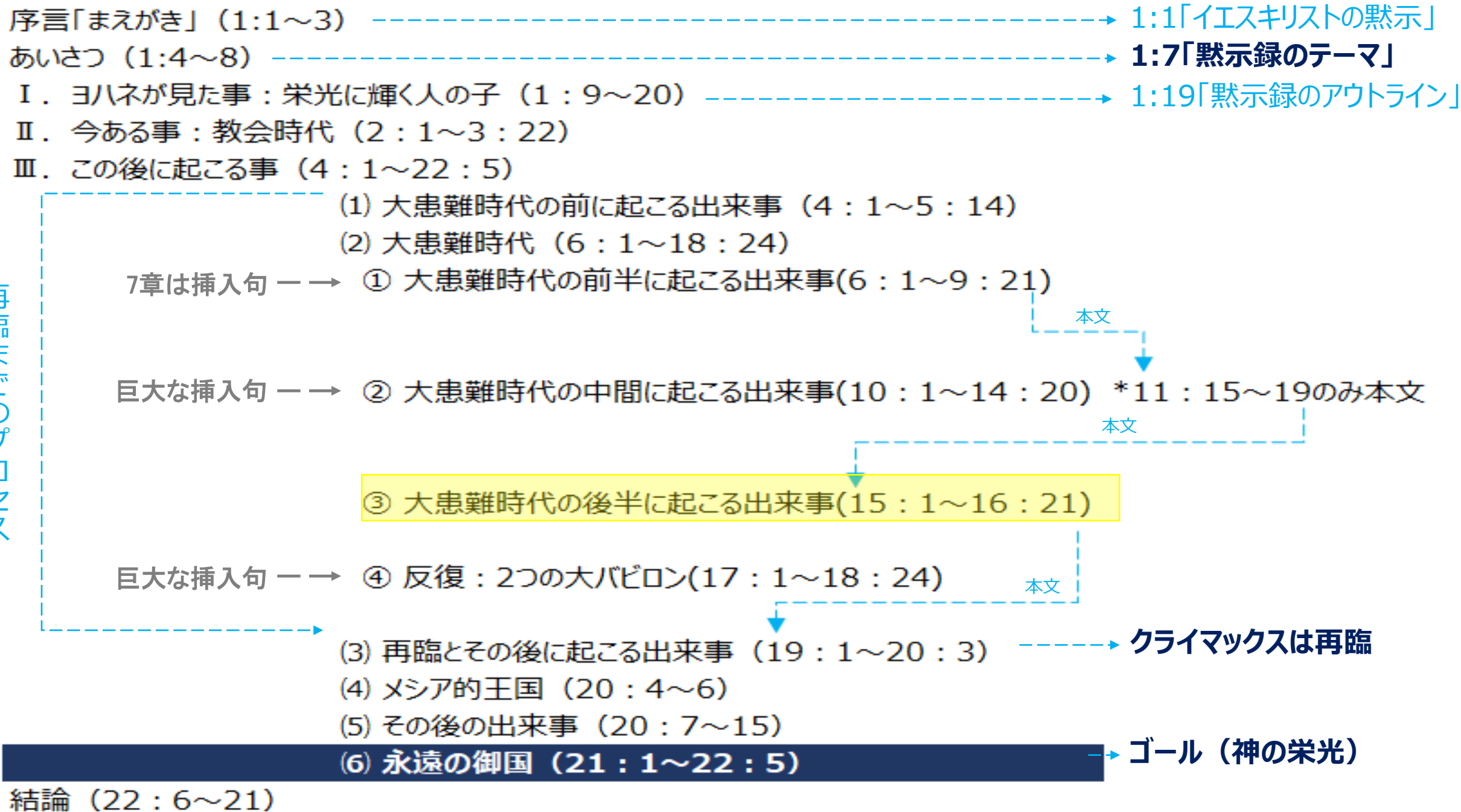
15章

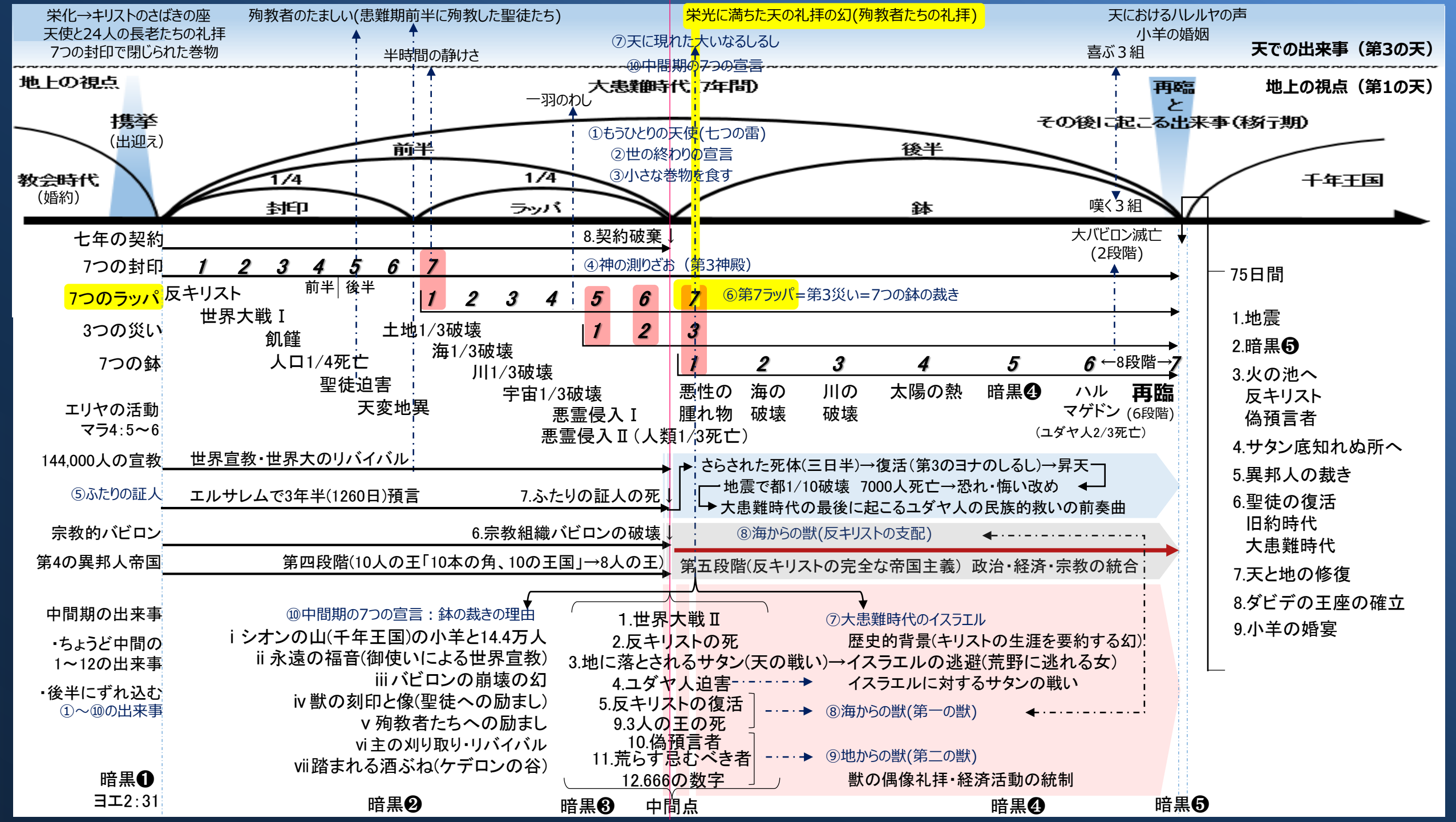
鉢の裁きの前奏曲

< アウトライン >

第27回

- (1) 7つの災害を携えた7人の天使（1～2節）
- (2) モーセの歌と小羊の歌（3～4節）
- (3) 開かれた天の幕屋の聖所（5～6節）
- (4) 7つの鉢（7～8節）





16章

鉢の裁き

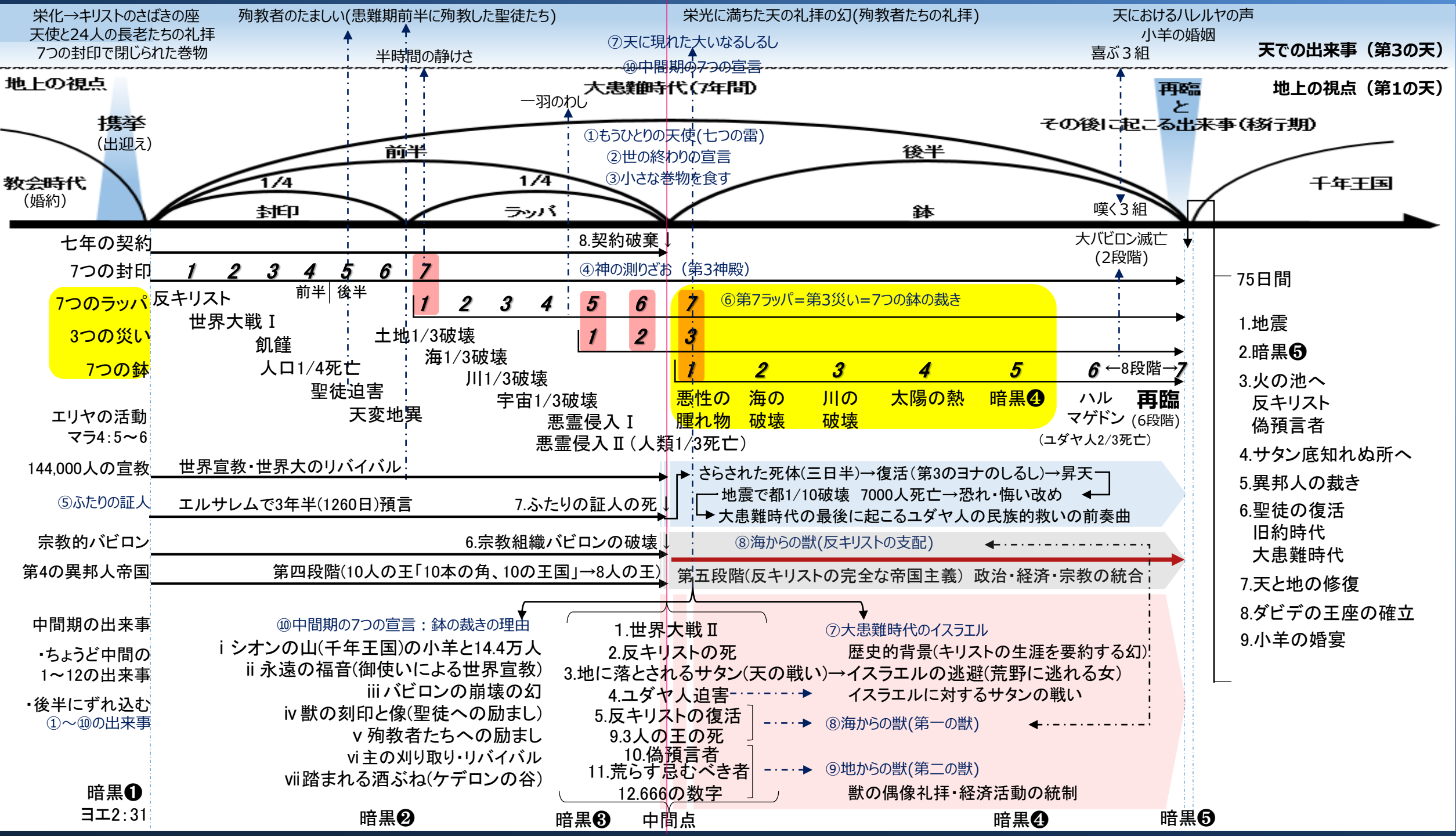
< アウトライン >

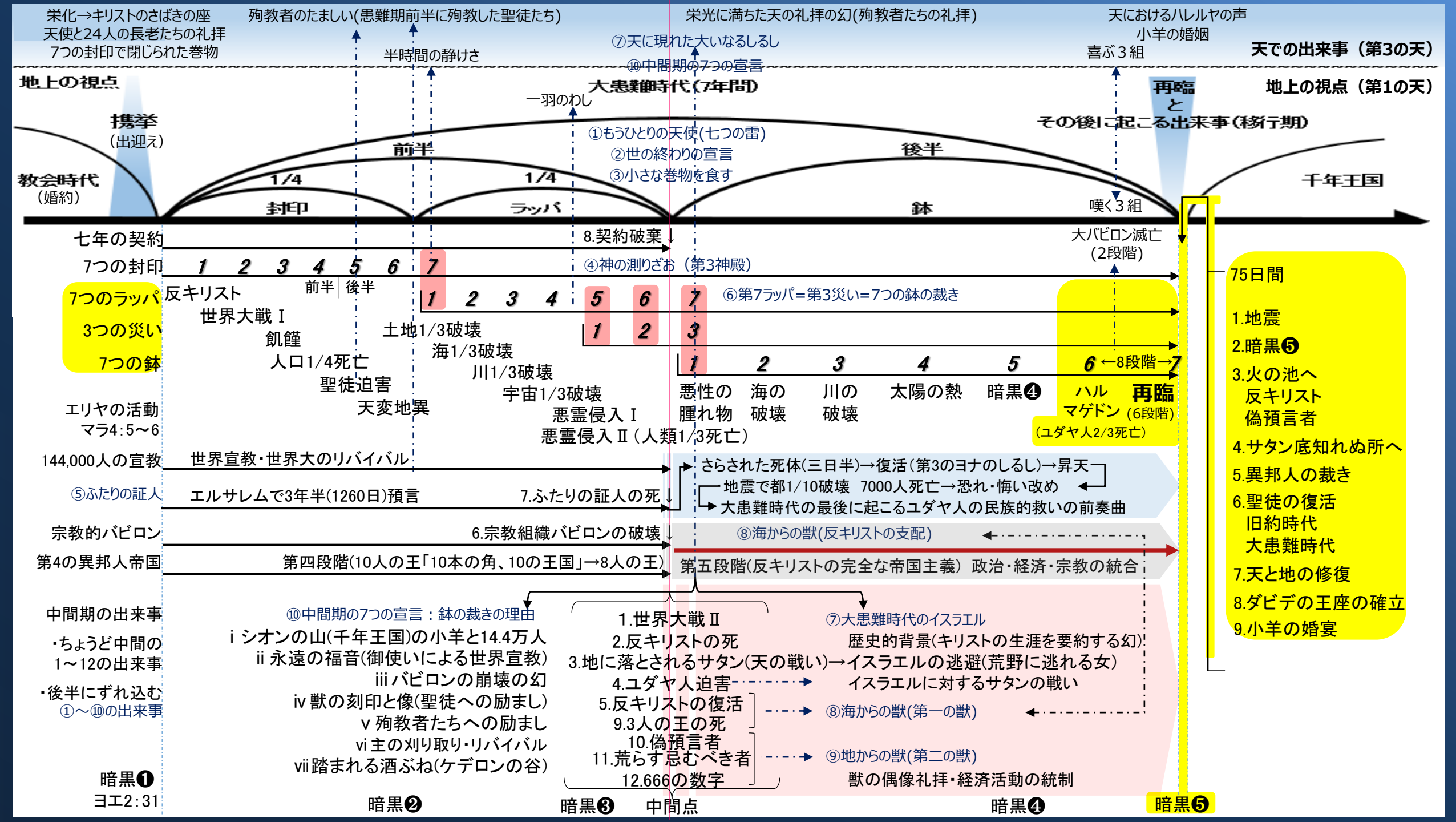
第28回

- (1) 第1の鉢の裁き (1～2節)
- (2) 第2の鉢の裁き (3節)
- (3) 第3の鉢の裁き (4～7節)
- (4) 第4の鉢の裁き (8～9節)
- (5) 第5の鉢の裁き (10～11節)

第29回

- (6) 第6の鉢の裁き (12～16節)
- (7) 第7の鉢の裁き (17～21節)







神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
第1段階	軍勢の集結 ・ ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16: 12~16 (第6の鉢の裁き)	ヨエ3: 9~11 詩2
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・ 異邦人信者による ・ 神ご自身による	黙14: 8 黙18章 黙19: 1~5	イザ13~14章 エレ50~51章 ゼカ5: 5~11
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・ 反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃		ゼカ12: 1~9 ゼカ14: 1~2 ゼカ10: 4~9 ミカ4: 19~5: 1
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12: 6~17	エレ49: 13~14 ミカ2: 12 ダニ11: 36~45 マタ24: 15~22 イザ33: 12~16
第5段階	イスラエルの民族的救い ・ イスラエルによる国家的罪の告白 ・ イスラエルの懇願		ゼカ12: 10 レビ26: 39~42 エレ3: 12~18 マタ23: 37~39 ロマ11: 26 ホセ5: 15 ホセ6: 1~3 イザ53: 1~9 イザ64 イザ66 詩79 詩80: 1~3, 17
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12: 7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19: 11~16 黙1: 7	イザ34: 1~7 イザ63: 1~6 ハバ3: 1~19 ミカ2: 12~13 Iテサ3: 13, 4: 14 エゼ39: 21~29 マタ16: 27 マタ24: 30 使1: 9~11 ユダ14~15
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・ 反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14: 17~20	ヨエ3: 12~13
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・ 地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雹)	黙16: 17~21 (第7の鉢の裁き)	ゼカ14: 3~4a ゼカ14: 4b~5 マタ24: 29 ヨエ3: 14~17

大患難時代の終了から千年王国までの75日間(黙19:1-20:3、ダニ12:11:13)

	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
1	地震	黙16:17~21	マタ24:22~29 ゼカ14:3~5 ヨエ3:14~17
2	暗黒		
3	反キリスト・偽預言者 火の池へ	黙19:20	
4	サタン底知れぬ所へ	黙20:1~3	
5	異邦人の裁き ・「羊」は千年王国へ、「山羊」は殺される		ヨエ3:1~3 マタ25:31~46
6	旧約・大患難時代の聖徒復活	黙20:4	ダニ12:2 イザ26:19
7	天と地の修復		イザ65:17~25
8	ダビデの王座の確立		イザ9:6~7 エレ23:5~6 ルカ1:30~33 エゼ40~41章
9	小羊の婚宴	黙19:9~10	ヨハ3:27~30

17～18章

二つの大バビロン

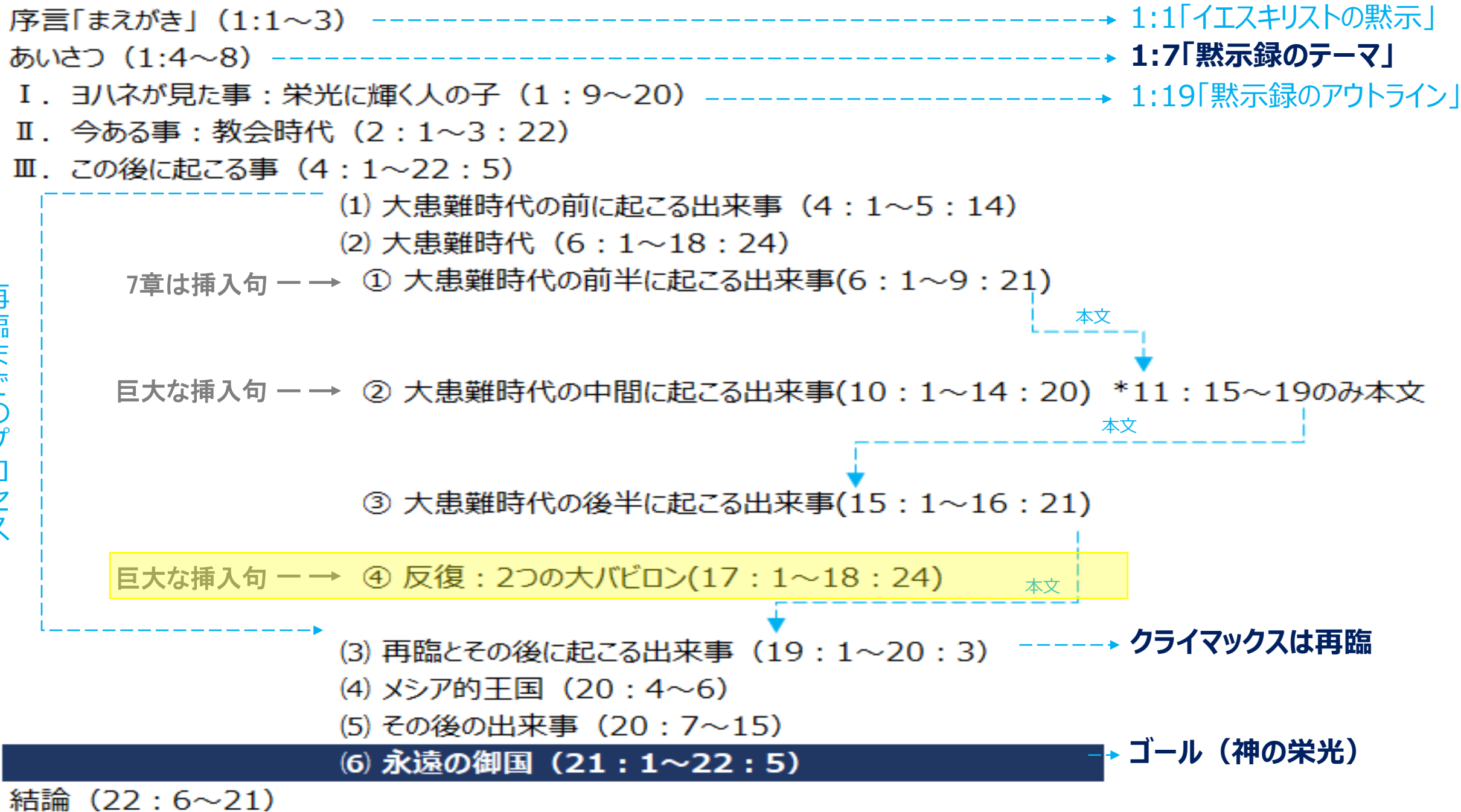
17章

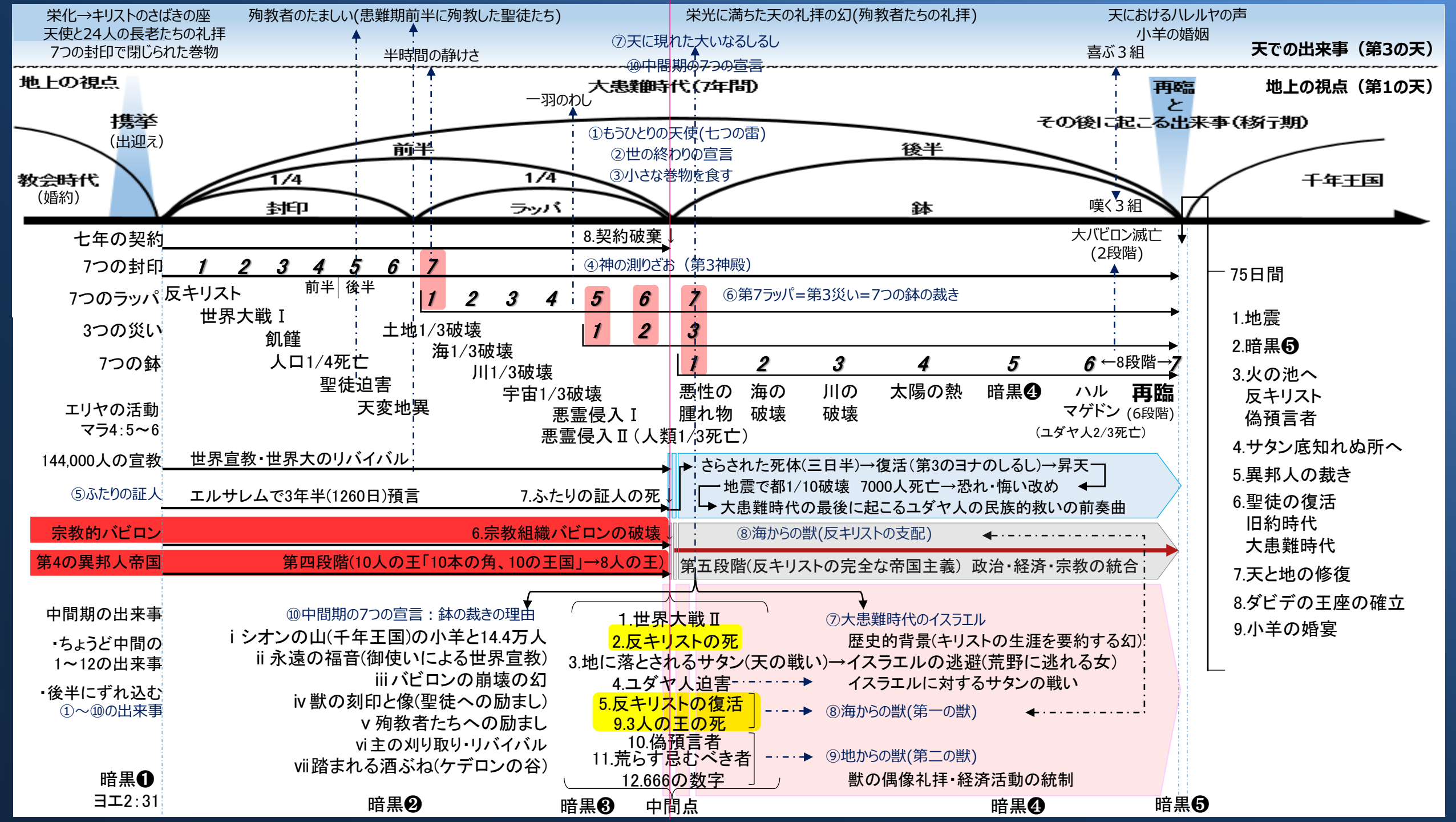
経済的・政治的バビロンの崩壊

< アウトライン >

第30回

- (1) 大バビロンの描写 (1～6節)
- (2) 大バビロンの解説 (7～14節)
- (3) 大バビロンの滅亡 (15～18節)





聖句箇所	過 去					現在	将来	大 患 難 時 代							
								前半	中間	後半					
	異 邦 人 帝 国 （ 異 邦 人 の 時 ）														
黙13：1～10 黙17：9～12	第一の 異邦人 帝国	第二の 異邦人 帝国	第三の 異邦人 帝国	10本の角					第 四 の 異 邦 人 帝 国 （ 獣 ） 帝 国 主 義 の 5 つ の 段 階						
ダニ7：7～12	獅子の ように 鷲の翼	熊	ひょうのよう で 4つの翼	大きな鉄のきばと10本の角											
ダニ2：40～43	頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	すねは鉄、足は鉄と粘土											
黙12：1～5 黙13：1～10 黙17：9～12 ダニ7：7～12 ダニ7：19～27 ダニ9：27 ダニ11：36～45	バビロン	メド・ ペルシャ	ギリシア	古代ローマ共和国の統治形態					第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階		
				プトレ マイオス	タルキソン王 の時代 (7人の王)	執政官 の時代	平民・ 独裁官 の時代	十人 委員 の時代	三頭 政治 の時代	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの 時代	東西分裂 (364年 ～現在) ★ 現在	世界統一 政府 ★ 将来	帝国主義第4段階の 10本の角とは10人の王のこと。 反キリストが11番目として台頭。 3本(人)を倒し8番目の角として 他7本(人)を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上ってきます」 これは反キリストの 復活を意味し、 復活した反キリストは、 二人の証人を殺す (黙11:7)		彼 (反キリスト) が来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する (獣の国)
				セレウコス											
				カッサン ドロス											
				リュシ マコス	第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	第6の頭(山・王) (統治形態=帝国主義)		第7の頭 (反キリスト) 完全な統治形態			
7つの頭										7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(古代ローマ共和国の5つの統治形態)、現在(ローマ帝国=帝国主義)、将来(反キリストによる独裁)					

神の国

メシア的王国
/
千年王国

神の国
メシア的王国
/
千年王国

説B

聖句箇所	過去					現在	将来	大 患 難		時 代	
								前 半	中間	後 半	
黙13：1～10 黙17：9～12	エジプト ？	アッシリヤ ？	異 邦 人 帝 国 （ 異 邦 人 の 時 ）								
			第一の 異邦人帝国	第二の 異邦人帝国	第三の 異邦人帝国	第 四 の 異 邦 人 帝 国 （ 獣 ） 帝 国 主 義 の 5 つ の 段 階					
ダニ7：7～12			獅子のようで 鷲の翼	熊	ひょうのようで 4つの翼	大 き な 鉄 の き ば と 1 0 本 の 角					
ダニ2：40～43			頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	す ね は 鉄 、 足 は 鉄 と 粘 土					
黙12：1～5 黙13：1～10 黙17：9～12 ダニ7：7～12 ダニ7：19～27 ダニ9：27 ダニ11：36～45			バビロン	メド・ ペルシャ	ギリシア	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階		第5段階
	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年～現在) ★ 現在				統一された 世界政府 ★ 将来	10本の角は、帝国主義の 第4段階の10人の王。 反キリストが11番目として台頭。 3本(人)を倒し8番目の角として 他7本(人)を支配する。 「昔いたが、今はいません。しかし、 やがて底知れぬ所から上ってきます」 これは反キリストの復活を意味し、 復活した反キリストは、 二人の証人を殺す(黙11:7)		彼 (反キリスト) が来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する (獣の国)		
							10の王国 10本の角 (10人の王)			8人の王 ひととき (黙17:12)	反キリスト(獣) による支配 (完全な帝国主義)
第1の頭 (山・王) (統治形態)					第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	第6の頭(山・王) (統治形態=帝国主義)		第7の頭(反キリスト) 完全な統治形態
7つの頭 7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷) 「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト？、アッシリヤ？、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシア)、現在(ローマ帝国=帝国主義)、将来(反キリストによる独裁)											

神の国

メシア的王国
/
千年王国

10本の角

神の国
メシア的王国
/
千年王国

18章

宗教バビロンの崩壊

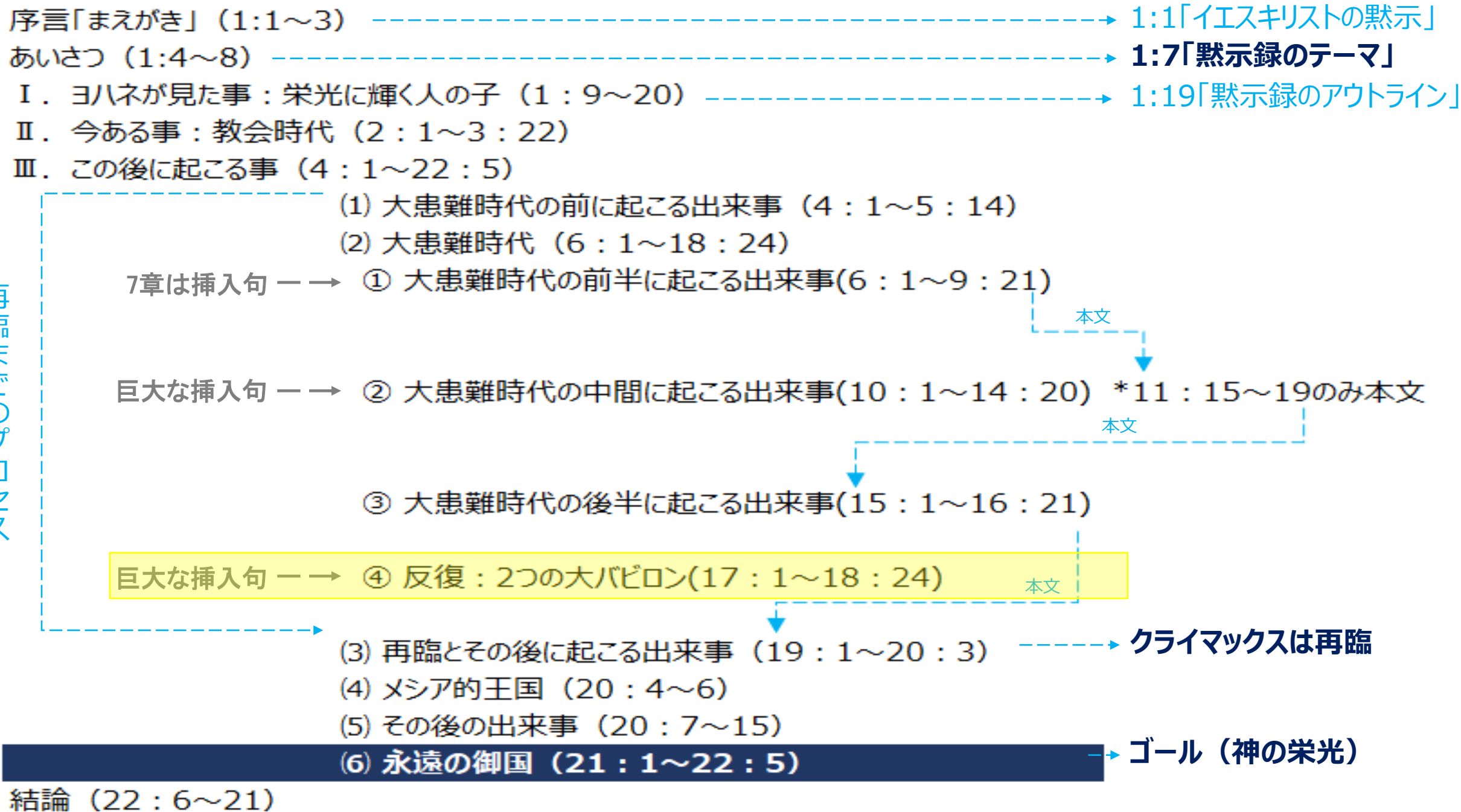
< アウトライン >

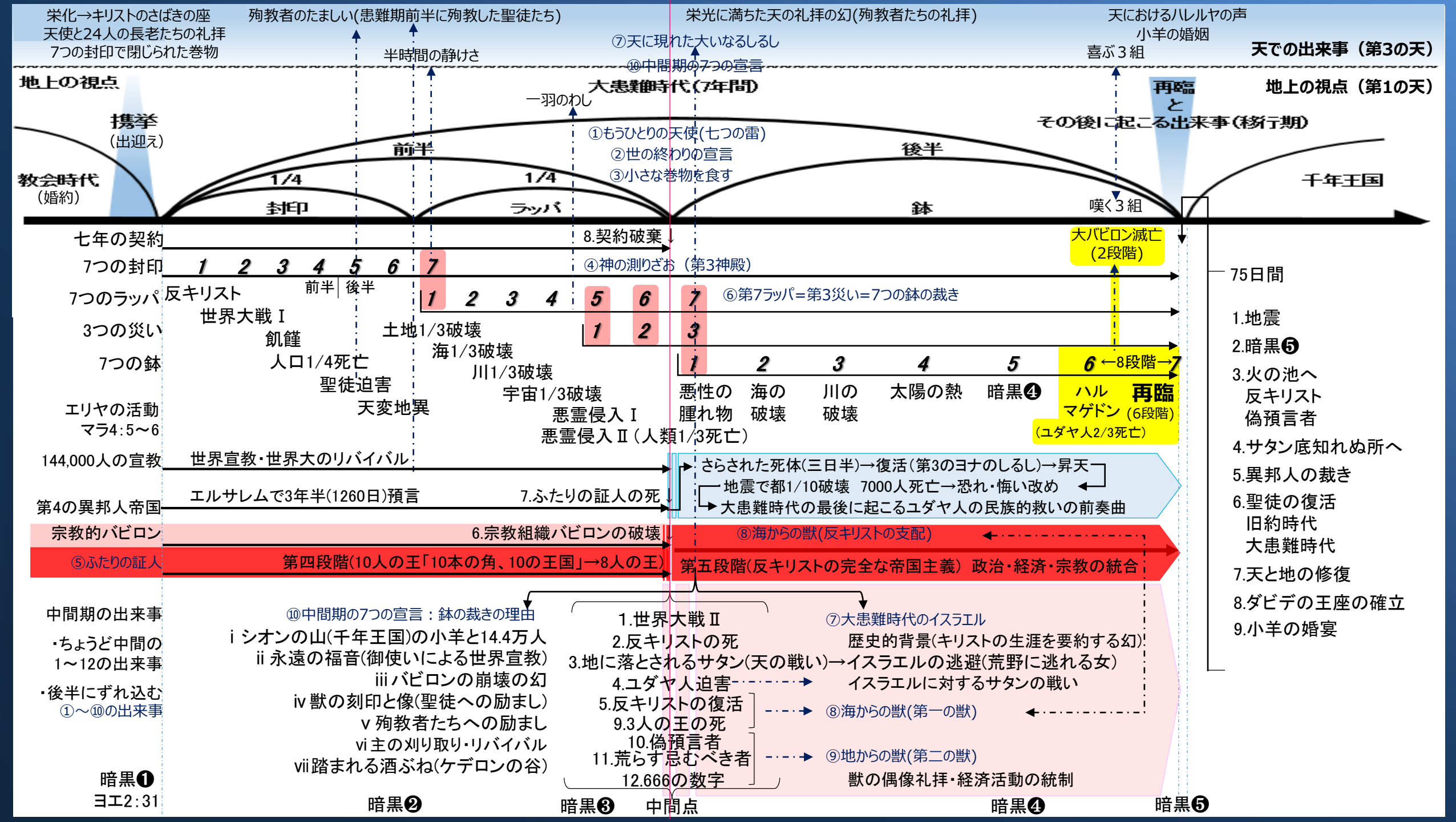
第31回

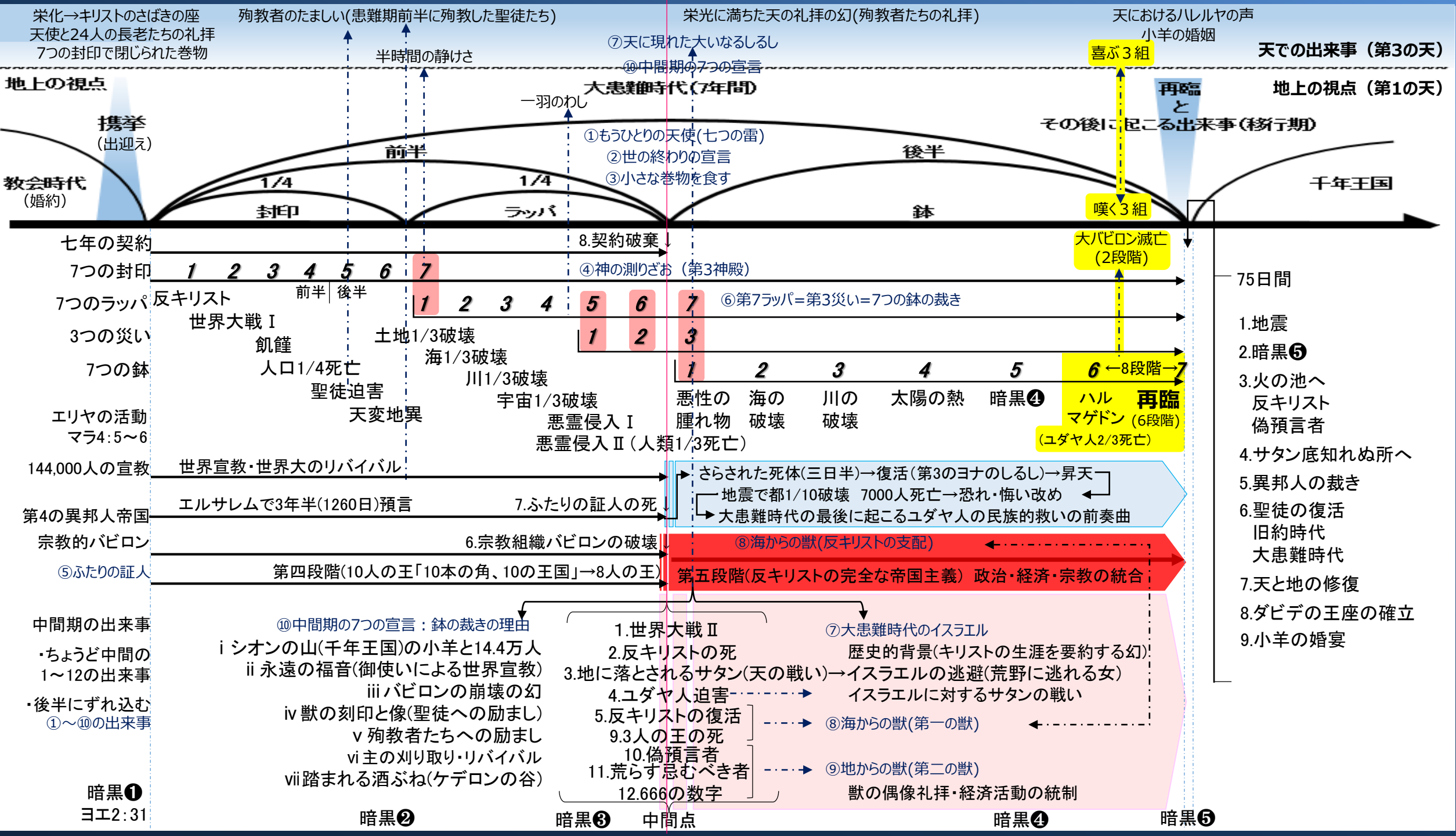
- (1) 大バビロン崩壊の宣言（1～3節）
- (2) 大バビロンからの救出（4～5節）
- (3) 大バビロンの罪の糾弾（6～8節）

第32回

- (1) 大バビロンの崩壊を嘆く人たち（9～19節）
- (2) 大バビロンの崩壊を喜ぶ人たち（20節）
- (3) 大バビロンの崩壊の描写（21～24節）









親バビロン、親・反キリストの軍勢

反バビロン、反・反キリストの軍勢 (異邦人の信者)

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)
第1段階	軍勢の集結 ・ ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16: 12~16 (第6の鉢の裁き)
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・ 異邦人信者による ・ 神ご自身による	黙14: 8 黙18章 黙19: 1~5
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・ 反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃	
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12: 6~17
第5段階	イスラエルの民族的救い ・ イスラエルによる国家的罪の告白 ・ イスラエルの懇願	
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼカ12: 7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19: 11~16 黙1: 7
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・ 反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14: 17~20
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・ 地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雷)	黙16: 17~21 (第7の鉢の裁き)

イスラエルの
平野(谷)
(ハルマゲドン)

①

③

⑧

⑦

⑥

④

⑤

レバノン

ダマスカス
دمشق

アンマン
عمان

ヨルダ

ボツラ
(ペトラ)

ユーフラテス川

バグダッド
بغداد

イラク

②

②

②

第6の鉢の裁き
ユーフラテス川(2800km)
が枯れる

神の大いなる日の戦い(ハルマゲドン)の8段階(黙19:17~21)

段階	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
第1段階	軍勢の集結 ・ ユーフラテス川の枯渇と悪霊による王の参集	黙16: 12~16 (第6の鉢の裁き)	ヨエ3: 9~11 詩2
第2段階	バビロンの都の崩壊 ・ 異邦人信者による ・ 神ご自身による	黙14: 8 黙18章 黙19: 1~5	イザ13~14章 エレ50~51章 ゼ力5: 5~11
第3段階	エルサレムの攻撃とその崩壊 ・ 反キリストの軍勢がイスラエルの谷から南進し攻撃		ゼ力12: 1~9 ゼ力14: 1~2 ゼ力10: 4~9 ミカ4: 19~5: 1
第4段階	反キリストの軍勢がエルサレムからボツラへ	黙12: 6~17	エレ49: 13~14 ミカ2: 12 ダニ11: 36~45 マタ24: 15~22 イザ33: 12~16
第5段階	イスラエルの民族的救い ・ イスラエルによる国家的罪の告白 ・ イスラエルの懇願		ゼ力12: 10 レビ26: 39~42 エレ3: 12~18 マタ23: 37~39 ロマ11: 26 ホセ5: 15 ホセ6: 1~3 イザ53: 1~9 イザ64 イザ66 詩79 詩80: 1~3, 17
第6段階	キリストの地上再臨 *ゼ力12: 7(先ずユダの天幕「仮住まい」を救われる)	黙19: 11~16 黙1: 7	イザ34: 1~7 イザ63: 1~6 ハバ3: 1~19 ミカ2: 12~13 Iテサ3: 13, 4: 14 エゼ39: 21~29 マタ16: 27 マタ24: 30 使1: 9~11 ユダ14~15
第7段階	ケデロンの谷で最終的な勝利 ・ 反キリスト軍エルサレムへ退却	黙14: 17~20	ヨエ3: 12~13
第8段階	諸国との戦いが終わってから、オリーブ山に立つ ・ 地殻変動(暗闇、地震、エルサレム3つに、55キロの雲)	黙16: 17~21 (第7の鉢の裁き)	ゼ力14: 3~4a ゼ力14: 4b~5 マタ24: 29 ヨエ3: 14~17

死者の場所（13の用語）

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

⑫天（第三の天）

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

（第二の天）

（第一の天）

キリストの昇天

（地球）

①シオール（死者が行く場所）=②ハデス（広義）

②ハデス（狭義）

③アバドン（固有名詞）

④よみの穴（描写的言葉）

⑦地獄（ヘブル語、ギリシア語にない）

⑤アビス
（墮天使を一時的に閉じ込める場所）

④タータラス
（創6章の墮天使）

⑩アブラハムのふところ
（比喩的言葉）

⑪パラダイス

- ①シオール よみ（改）、陰府（共）、陰府（口）
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓（ヨブ 33：18）
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、樂園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム（ガラ 4：26）

⑧ゲヘナ（Gei Hinnom が語源）

⑨火の池

（すべての失われた者の永遠の住み家）

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天	地上に落とされる		アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって縛られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊	第2、第3の天や 地上に移動可能		地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が聞く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

19章

黙示録のクライマックス

19章

ハレルヤの声と小羊の婚姻

キリストの再臨

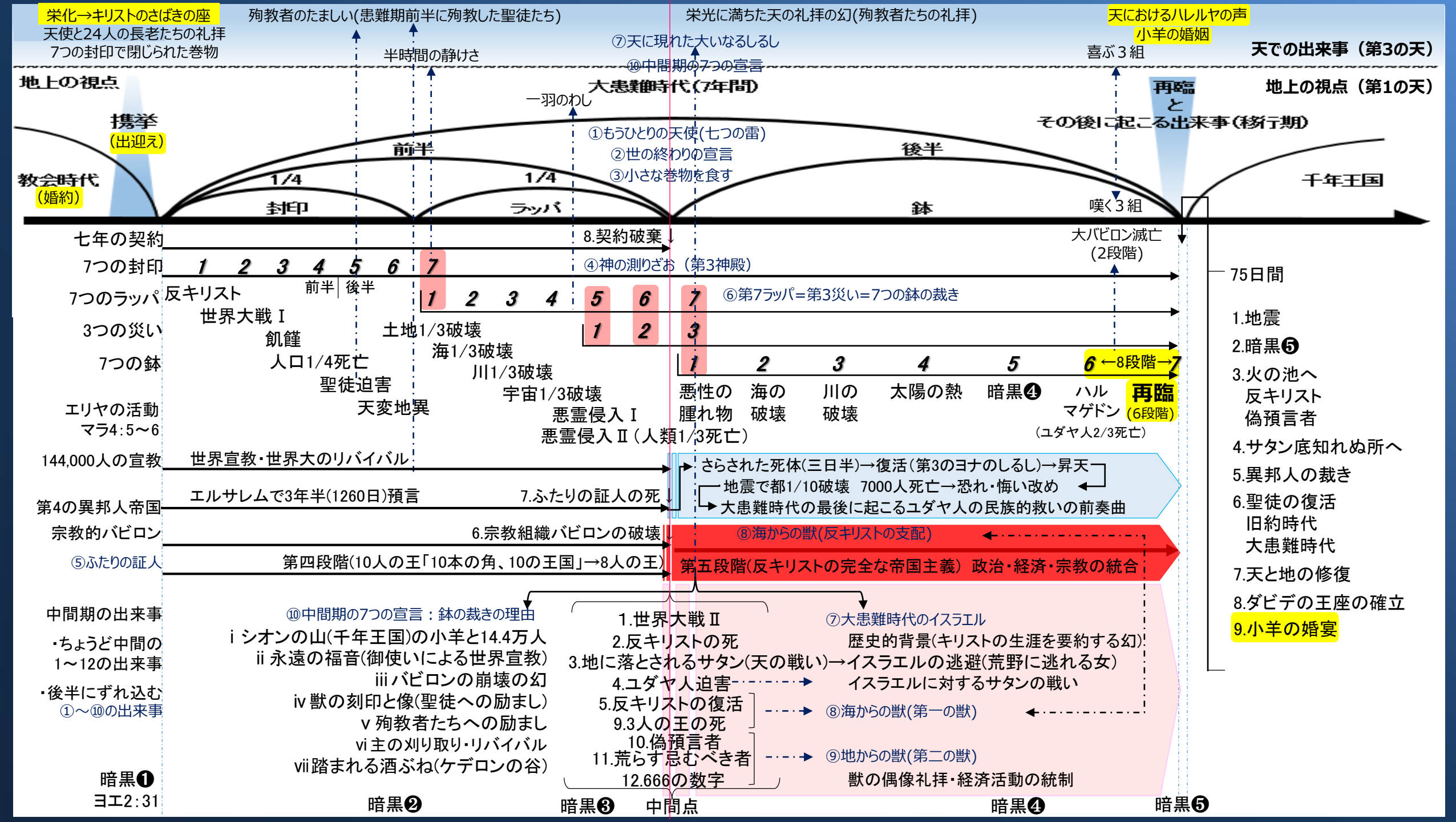
< アウトライン >

第33回

- (1) 天における大群衆の賛美（1～3節）
- (2) 24人の長老と4つの生き物の礼拝（4～5節）
- (3) 小羊の婚姻（6～8節）
- (4) 小羊の婚宴（9～10節）

第34回

- (1) 白い馬に乗った方の啓示（9～13節）
- (2) キリストの再臨（14～18節）
- (3) ハルマゲドンの戦い（19～21節）



第3の天

キリストの裁きの座

第四の「ハレルヤ」の声

聖化の完成
(栄化)

③小羊の婚姻

携挙

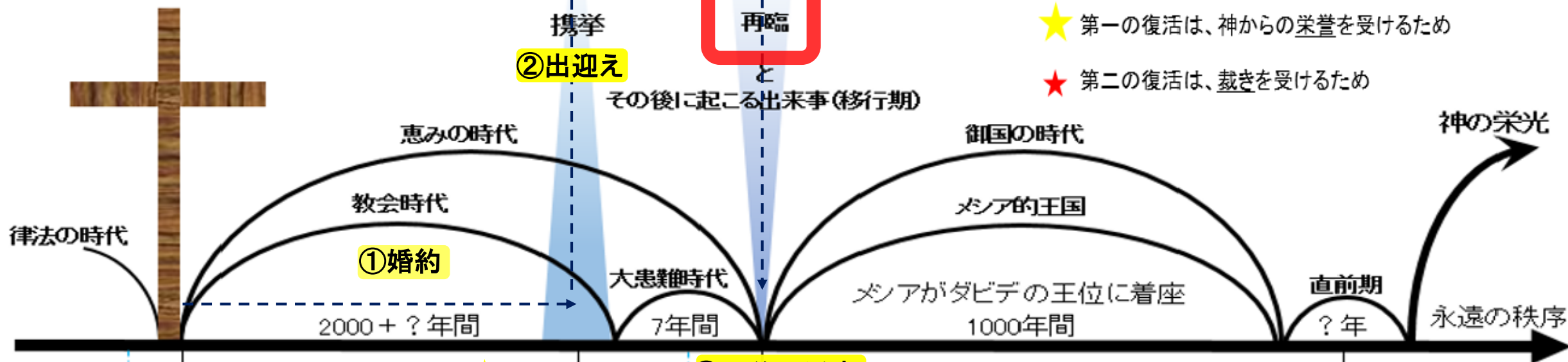
②出迎え

再臨

その後起こる出来事(移行期)

★ 第一の復活は、神からの栄誉を受けるため

★ 第二の復活は、裁きを受けるため



①婚約

2000 + ? 年間

大患難時代

7年間

御国の時代

メシア的王国

メシアがダビデの王位に着座

1000年間

直前期

? 年

神の栄光

永遠の秩序

★ メシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★ 教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

④小羊の婚宴

旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★ 反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

★ 第二の復活と
それに続く第二の死

★ あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ 15: 26)

	ユダヤ式婚姻	小羊の婚姻(キリストと教会)	聖句
第1段階	・婚約：双方の親によって婚約がなされる場合が多い	・教会はキリストの死と復活を通して、花嫁として地上に誕生した ・教会時代は婚約期間中で 花嫁(キリスト)による出迎えを待っている。 ・人は御霊によって新生し、教会にバプタイズされることによって この祝福に与える者とされる。	エペ5：25-27
第2段階	・花嫁による出迎え： 婚礼の直前に花嫁が花嫁の家に出向き、花嫁を自分の家に 連れ帰る。婚約と婚礼の間には、数年、長い場合は 10数年の間隔がある。 出迎えのタイミングは、花嫁の父が「場所の備え」が 出来ていることを確認し決める。	・携挙：花嫁である教会が携挙されるときに実現 (大患難時代の前) 信者は「キリストのさばきの座」で報奨のための裁きを受け 聖化が完了し婚姻に備える。	Ⅱコリ5：10 Ⅰコリ3：10～15
第3段階	・婚礼：家族や親族だけの小人数で執り行われる。	・小羊の婚姻：キリストの再臨直前に天で行われる。	黙19：6～8
第4段階	・祝宴： 婚礼の後、友人を招いて大規模な祝宴が開かれる 長い場合は7日間程度	・小羊の婚宴：再臨の直後に地上で行われる。 この婚宴は、千年王国の開始を告げるものとなり 多くの人たちが参加する。 ※この時点で生きているものは皆、信者 ※教会時代の聖徒たちはキリストの花嫁で キリストの再臨時に復活する旧約時代の聖徒 大患難時代の聖徒たちが婚宴の招待客となる。	黙19：9～10 ヨハ3：27～30

20章

千年王国

白い御座の裁き

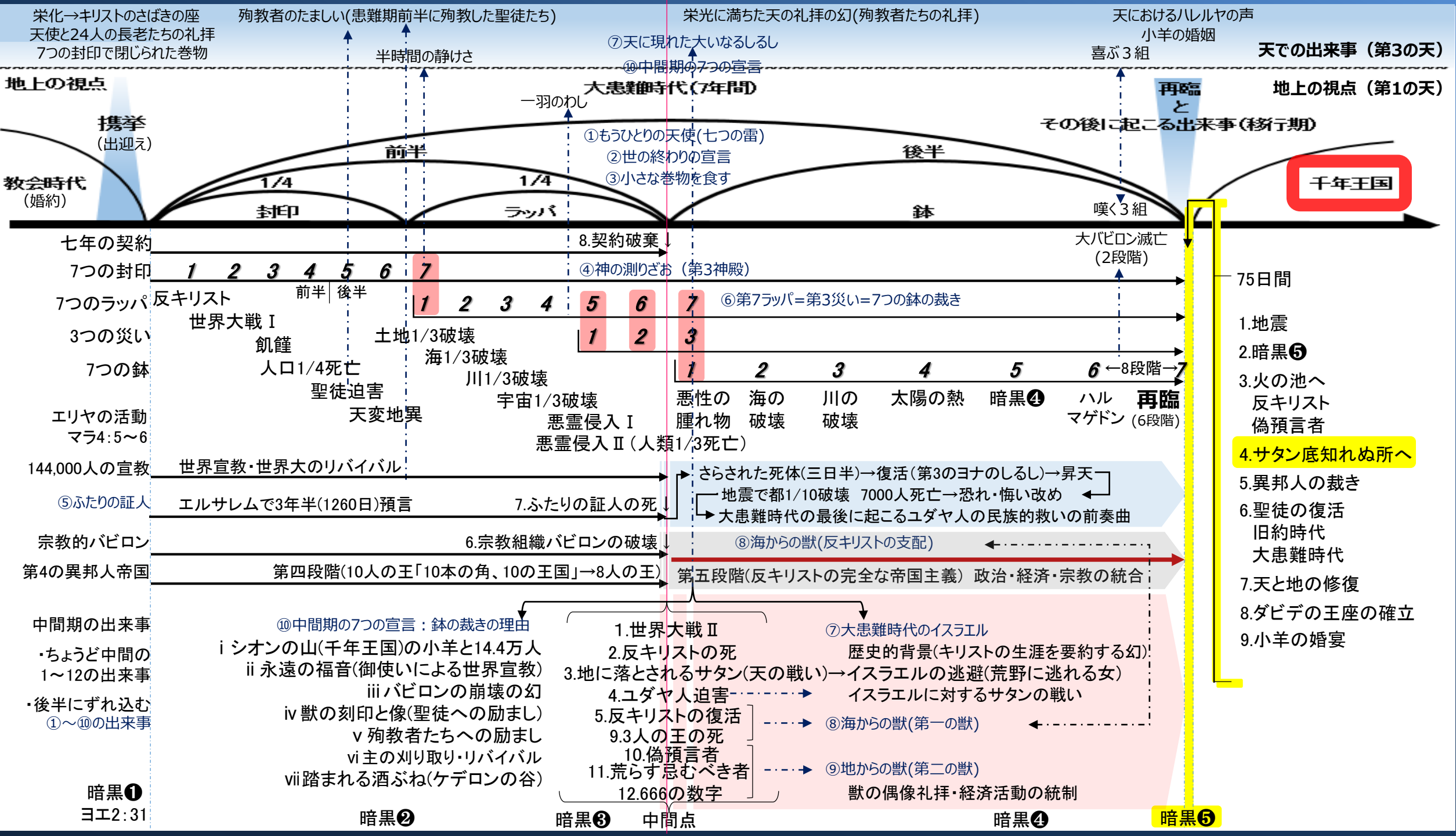
< アウトライン >

第35回

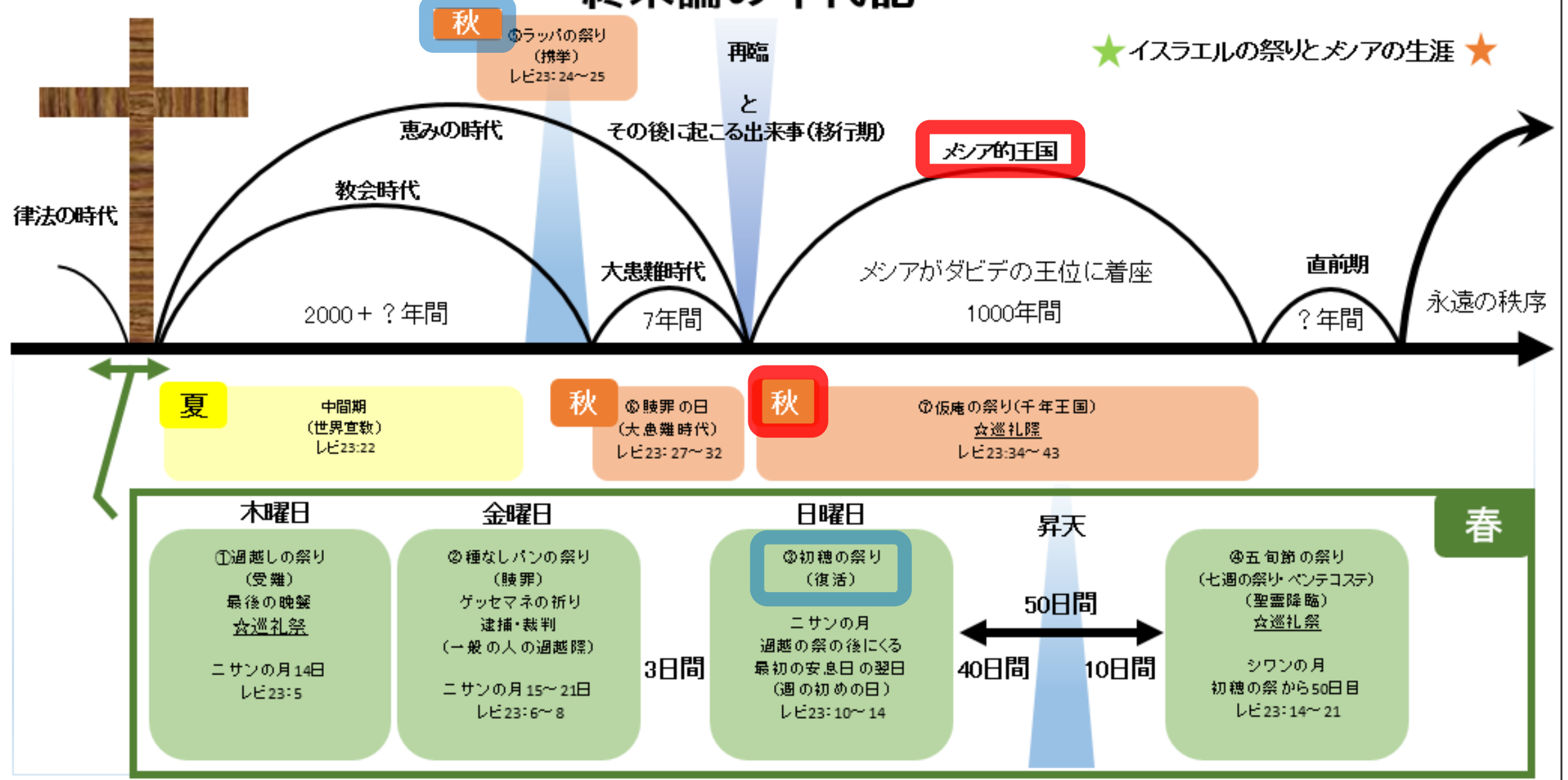
- (1) 悪魔の縛り (1～3節)
- (2) 千年王国 (4～6節)

第36回

- (1) サタンの反乱 (7～10節)
- (2) 白い御座の裁き (11～15節)



終末論の年代記



第3の天

キリストの裁きの座

第四の「ハレルヤ」の声

聖化の完成
(栄化)

③小羊の婚姻

携挙

②出迎え

再臨
と

その後起こる出来事(移行期)

★ 第一の復活は、神からの栄誉を受けるため

★ 第二の復活は、裁きを受けるため

御国の時代

神の栄光

恵みの時代

教会時代

①婚約

2000 + ? 年間

大患難時代

7年間

メシア的王国

メシアがダビデの王位に着座

1000年間

直前期

? 年

永遠の秩序

★ メシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★ 教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

④小羊の婚宴

★ 旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★ 反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

★ 第二の復活と
それに続く第二の死

★ あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ 15: 26)

数々の書 黙20：12	各人の行いが記録された書物。信者とは関係ない。 「いのちの書」に記載されていない罪びと(不信者)の行動が記されており彼らは、その内容に基づいて裁かれる。罪人の裁きにはそれぞれ程度がある。
いのちの書 詩139：16、69：28 出32：31～33 黙3：5、20：11～12	地上に誕生した全ての人の名が記されている書物。罪人のままで死んだ人の名は、その書から消し去られる。その人は、白い御座の裁きで裁かれる。 千年王国の終了時に「小羊のいのちの書」と「いのちの書」の内容が合致する。
小羊のいのちの書 黙13：8、17：8	信者(新生した人)の名前が記された書物 信者の名は天地創造の前からその書に記されている

第1の巻物 黙5章	7つの封印で閉じられた巻物 父なる神の右の手からキリストが巻物を受け取った 以下の2面性をもつキリストのみが開くことができる ・「ユダ族の獅子」（勝利の王）これは再臨のキリスト ・「小羊」（受難の僕）これは初臨のキリスト 内容は神の啓示(6～22章)であり、両面に文字がかかれてある
第2の巻物 黙10：8～11 ダニ7：13～14	小さくて、開かれたもの 御使いの手からヨハネが取って食べた 内容は預言「神の啓示」「これから来る裁きの恐ろしさ」 ・神の啓示を理解することゆえに、口には密のように甘い ・裁きの恐ろしさゆえに腹の中に入ると、苦くなる 預言の学びの2面性(楽しいが、苦しい)

死者の場所（13の用語）

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

⑫天（第三の天）

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

（第二の天）

（第一の天）

キリストの昇天

（地球）

①シオール（死者が行く場所）=②ハデス（広義）

②ハデス（狭義）

③アバドン（固有名詞）

④よみの穴（描写的言葉）

⑦地獄（ヘブル語、ギリシア語にない）

⑤アビス
（墮天使を一時的に閉じ込める場所）

⑥タータラス
（創6章の墮天使）

⑩アブラハムのふところ
（比喩的言葉）

⑪パラダイス

- ①シオール よみ（改）、陰府（共）、陰府（口）
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓（ヨブ 33：18）
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、樂園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム（ガラ 4：26）

- ⑧ゲヘナ（Gei Hinnom が語源）
- ⑨火の池
（すべての失われた者の永遠の住み家）

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天 第2、第3の天や 地上に移動可能	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって縛られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊					
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

21～22章

聖書・黙示録のゴール

21章

新しい天と新しい地

新しいエルサレムの特徴(前半)

< アウトライン >

第37回

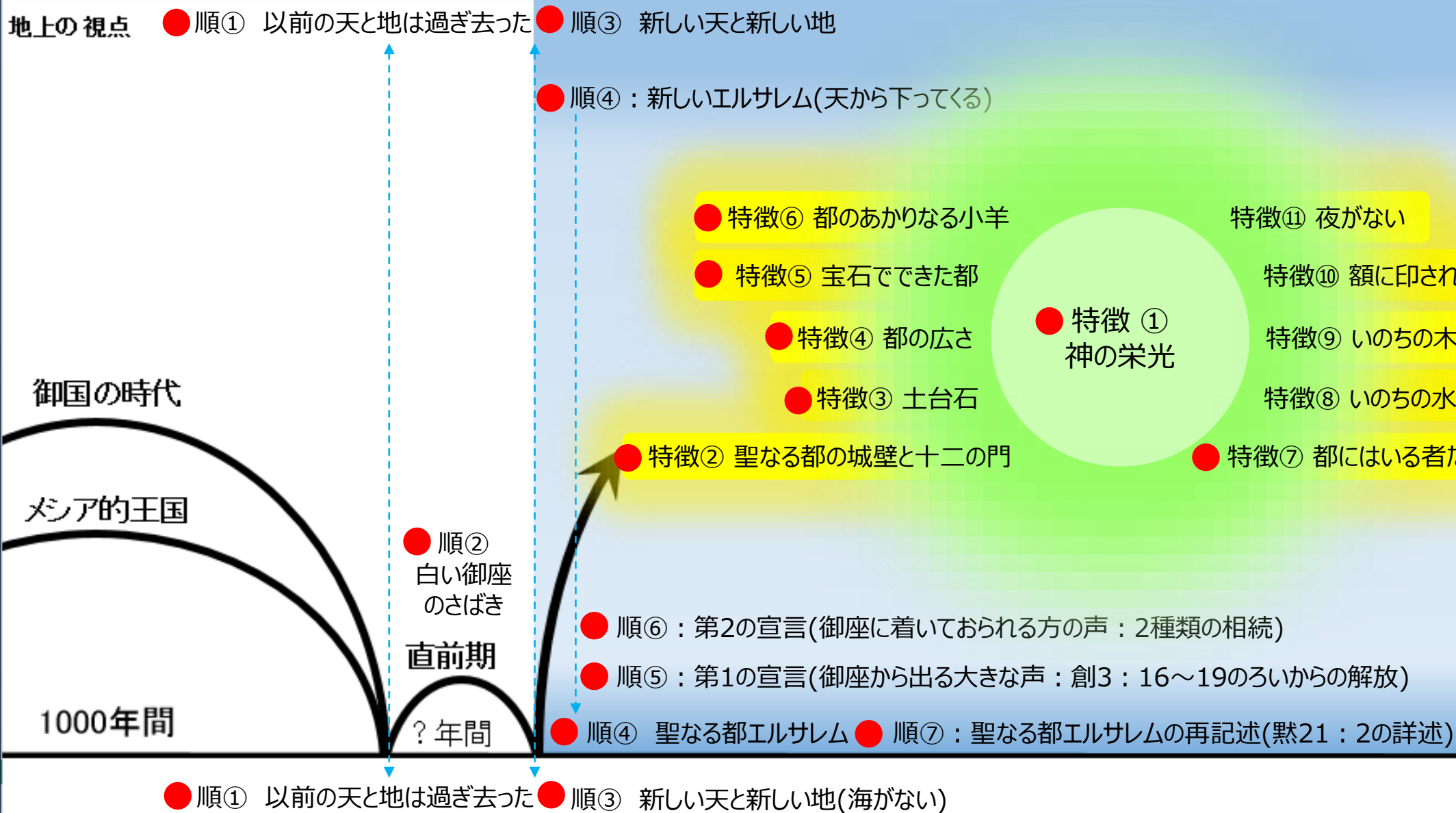
- (1) 新しい天と新しい地 (1節)
- (2) 新しいエルサレム (2節)
- (3) 第1の宣言 (3～4 節)
- (4) 第2の宣言 (5～8節)



第38回

- (1) 聖なる都エルサレムの啓示 (9～10節)
- (2) 聖なる都エルサレムの特徴 (前半)
 - ① 神の栄光 (11節)
 - ② 城壁 (12～13節)
 - ③ 城壁の土台 (14節)
 - ④ 広大な面積 (15～17節)
 - ⑤ 材質 (18～21節)
 - ⑥ 不要になったもの (22～23節)
 - ⑦ 聖徒たちだけが入る (25～27節)

地上の視点



22章

新しいエルサレムの特徴(後半)

結末

< アウトライン >

第39回

- (3) 聖なる都エルサレムの特徴（後半）
 - ⑧ いのちの水の川（1～2節a）
 - ⑨ いのちの木（2節b）
 - ⑩ 都の住民（3～4節）
 - ⑪ 夜が巡ってこない都（5節）

第40回

- (1) 再臨の希望 (6～7節)
- (2) ヨハネによる礼拝 (8～9節)
- (3) この書の預言を宣言せよとの命令 (10～11節)
- (4) 報いの確実性 (12節)
- (5) 永遠のキリスト (13～16節)
- (6) 御霊と花嫁による招き (17節)
- (7) 最後の警告 (18～20節)
- (8) 祝祷 (21節)

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地

順④ : 新しいエルサレム(天から下ってくる)

特徴⑥ 都のあかりなる小羊

特徴⑤ 宝石でできた都

特徴④ 都の広さ

特徴③ 土台石

特徴② 聖なる都の城壁と十二の門

特徴 ①
神の栄光

● 特徴⑪ 夜がない

● 特徴⑩ 額に印された神の御名

● 特徴⑨ いのちの木

● 特徴⑧ いのちの水の川

特徴⑦ 都にはいる者たち

御国の時代

メシア的王国

1000年間

順②
白い御座
のさばき

直前期

? 年間

順⑥ : 第2の宣言(御座に着いておられる方の声 : 2種類の相続)

順⑤ : 第1の宣言(御座から出る大きな声 : 創3 : 16~19のろいからの解放)

順④ 聖なる都エルサレム

順⑦ : 聖なる都エルサレムの再記述(黙21 : 2の詳述)

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地(海がない)

神の栄光・被造世界の回復！

Q1) 聖書のはじまりとは？

A1) 創世記1：1

Q2) 聖書の終わりとは？

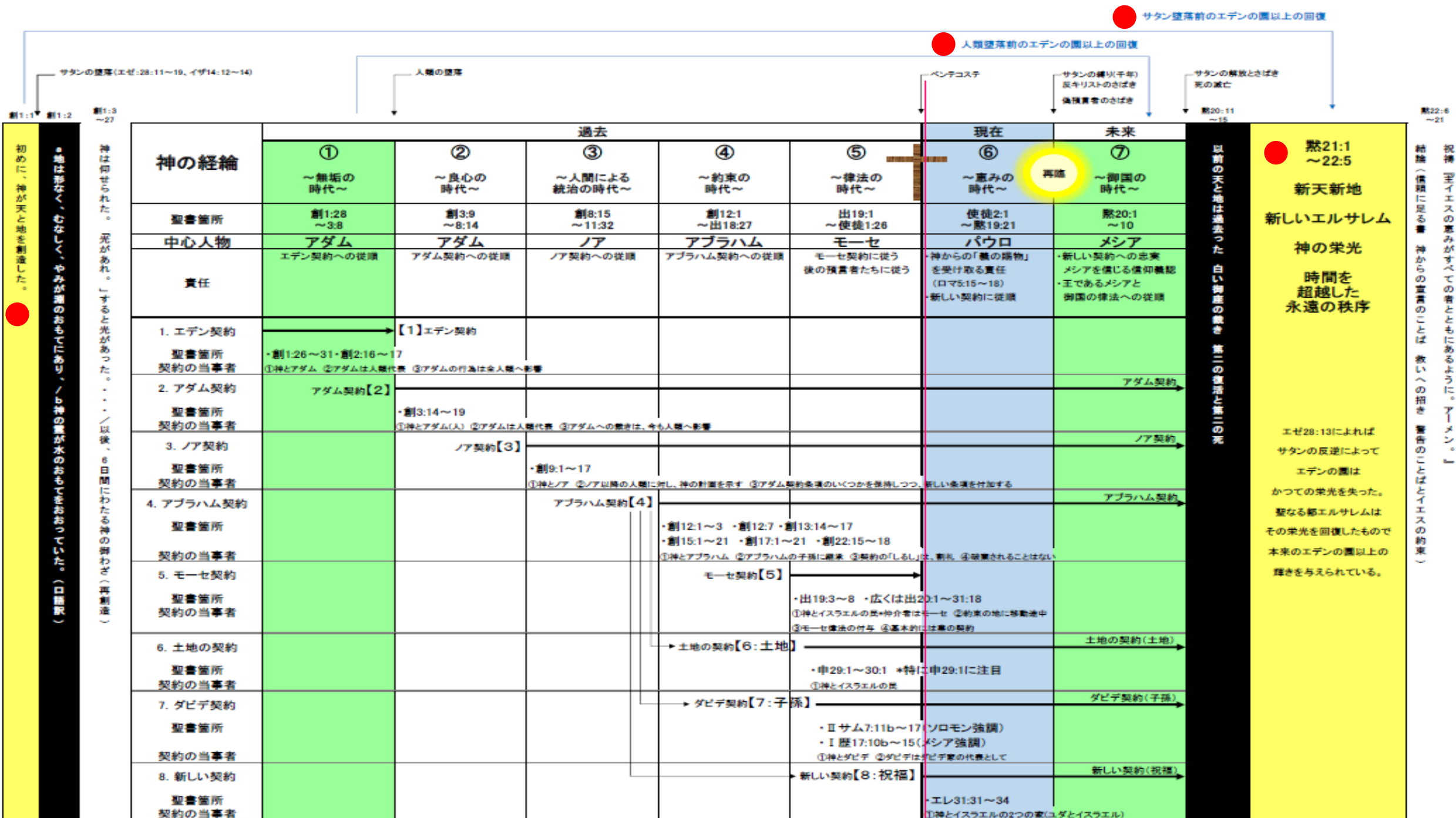
A1) 黙示録21：1～22：5

Q3) 人類墮落前以上の被造世界の回復とは？（第1段階）

A3) 黙示録20：1～10

Q4) サタン墮落前以上の被造世界の回復とは？（第2段階）

A4) 黙示録21：1～22：5



ローマ11：36

すべてのものが神から発し、神によって成り、
神に至るのです。この神に、栄光がとこしえ
にありますように。アーメン。

頌栄の箇所。1～11章の神学的議論のフィナーレの箇所。正しく解き明かした御言葉は、字義どおりに、必ず成就する。
ロマ書の教理全体のみならず、神のご計画の全貌を一節で言い表すとこのようになる！

黙示録21：21

主イエスの恵みが、すべての者とともにありますように。

アーメン In Christ

**携拳と再臨に対する
私たちの備えとは？**

モットー

「聖書研究から日本の霊的覚醒（目覚め）が」

学びと行動の両輪

「**教理**」と「**実践**」という二面性は、

「**真理**」と「**愛**」ということばで置き換えることができます。

「真理」(教理)と「愛」(実践)が**調和**した

真のクリスチャン生活を、ともに目指しましょう！

聖書フォーラム運動の基本理念

「**自立と共生**」がキーワード。

- ・一人ひとりが、自立していること。
- ・お互いの個性を大切に、一緒に成長すること。

私たちの**ABC**

AIM … 聖書フォーラム運動の目的は、「神の栄光」を表し、求めること。
私たちは、この人生を通じ、神を誉め称えるために創られました。

BASIS … 私たちの土台は、ユダヤ的視点により聖書を解釈すること。
当時の人たちが理解した方法で、聖書を字義通りに理解します。

CONCEPT … 自主性を重んじ、経済的・精神的に自立した
お互い同士、小さなグループ同士が、ゆるやかにつながり合います。

自立への道

教会の病理現象（**FATIM**）からの脱却

①形式主義(**FORMALISM**)から自由主義(**FREEDOM**)へ

1. キリストにある自由
2. 愛を働かせるための自由

②権威主義(**AUTHORITARIANISM**)から自治(**AUTONOMY**)へ

1. 自給伝道
2. 自主運営

③伝統主義(**TRADITIONALISM**)から変革(**TRANSFORMATION**)へ

1. ユダヤ的聖書解釈
2. 神の国の視点

④内向き志向(**INWARD-LOOKING**)から外向き志向(**OUTWARD-LOOKING**)へ

1. キリスト教を世界観としてとらえる。
2. キリスト教を歴史観としてとらえる。

⑤会員志向(**MENBERSHIP-ORIENTED**)から流動志向(**MIGRATION-ORIENTED**)へ

1. 歴史の流れと社会の現状を読む。
2. 自らの動機の再確認。

最終ベクトルはいつもここ！ 普遍的教会の建て上げ

教理的に一致した
近隣のBF,BSや制度的教会
また家庭集会などと共に
多様性ある共生スタイルで
キリストのみからだを建て上げる

そして

“To the Jew first”

まずはユダヤ人信者と**共生**し、
ともに建て上げていきます！

“福音も・協力支援も・祈りも”

“教理も・実践も”

ローマ1：16

私は福音を恥とは思いません。福音は、**ユダヤ人をはじめ**ギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。

(新改訳)



For I am not ashamed of the gospel:
for it is the power of God unto
salvation to everyone that believes;
to the Jew first, and also to the Greek.
(American Standard Version, 1901)



私は福音を恥と思いません。福音は、
信じるすべての人、**まずはユダヤ人**、
そしてギリシヤ人を救う神の力です。
(私訳)

アーメン In Christ



聖書フォーラム
BIBLE FORUM